

高浜町障害者基本計画
第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定に係る
アンケート調査結果報告書

令和2年10月

高 浜 町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	2
1	障害者手帳所持者アンケート調査	2
	(1) 調査対象者の属性	2
	(2) 障がいの状況について	7
	(3) 住まいや暮らしについて	12
	(4) 日中活動や就労について	14
	(5) 相談相手・情報収集について	20
	(6) 障がい福祉サービス等の利用について	22
	(7) 権利擁護・障がい者差別解消について	36
	(8) 災害時の避難等について	40
	(9) 暮らしやすさや将来の生活について	42
	(10) 教育・保育について	47
	(11) 障がい福祉全般について	49
	(12) 自由回答	50

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「高浜町障害者基本計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」を策定するため、本町に居住する障がいのある方の日常生活などの現状や福祉サービスに対するニーズなどを把握することを目的に実施しました。

2 調査設計

調査対象者	・身体障害者手帳保持者 ・療育手帳保持者 ・精神障害者保健福祉手帳所持者 ・自立支援医療（精神通院）受給者証保持者（手帳なし） ・障害児通所サービス受給者（手帳なし） ・特別児童扶養手当受給者（手帳なし） ※手帳の複数保持等の重複者を除く
配布数	597件
抽出方法	手帳所持者等全数抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	2020年（令和2年）7月15日～8月4日

3 回収結果

配布数 A	回収数 B	有効回収数 C	有効回収率 C/A
597	306	305	51.1%

※有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

4 報告書の見方

- (1)比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2)回答率（%）は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3)基数となるべき実数は、件数または調査数として掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- (4)複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合もあります。
- (5)本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

Ⅱ 調査結果

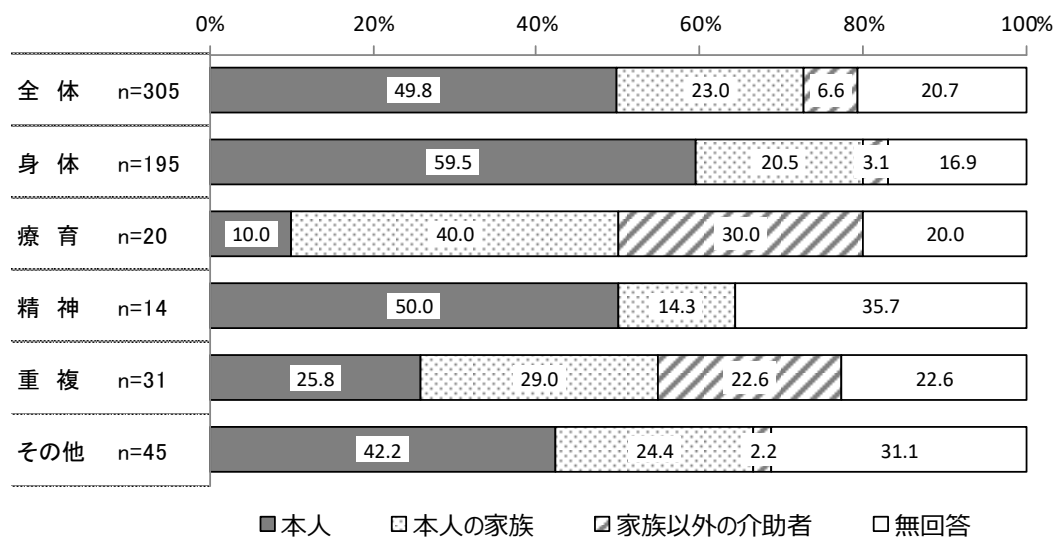
1 障害者手帳所持者アンケート調査

(1) 調査対象者の属性

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

調査票の記入者については、「本人」が49.8%と最も多く、次いで「本人の家族」が23.0%、「家族以外の介助者」が6.6%となっています。

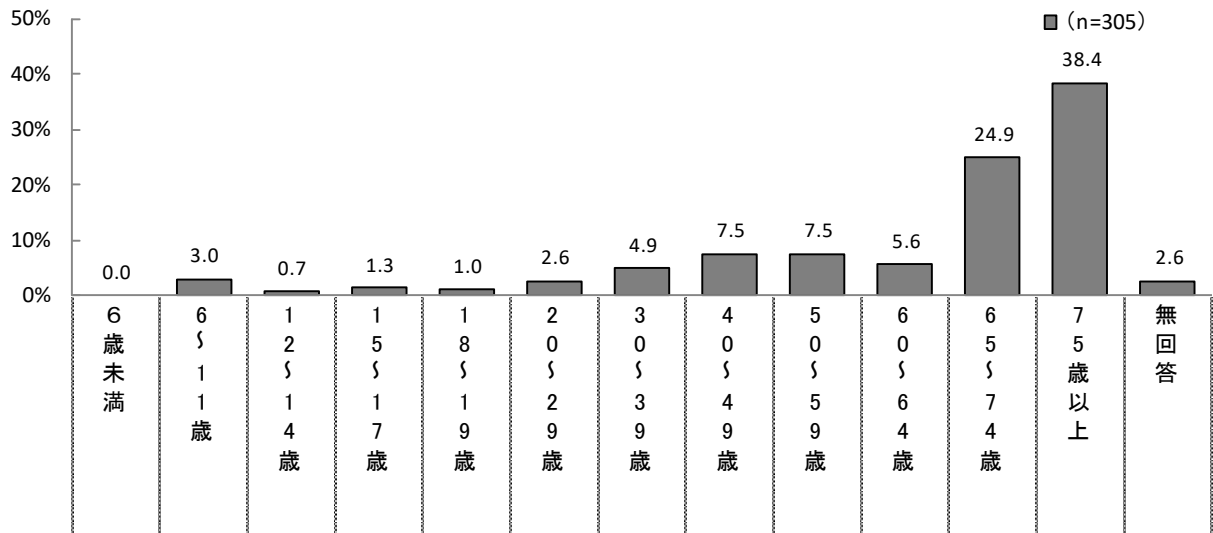
障がい別で見ると、身体や精神では「本人」が最も多くなっているのに対し、療育や重複では「本人の家族」が最も多くなっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(令和2年7月1日現在)

回答者の年齢の内訳は、「75歳以上」が38.4%と最も多く、次いで、「65～74歳」が24.9%、「40～49歳」「50～59歳」が7.5%となっています。

障がい別でみると、身体では「65歳以上」が約8割(80.6%)を占めています。療育では「40～49歳」が25.0%と最も多くなっています。精神では「30～39歳」が35.7%と最も多くなっています。重複では「65歳以上」が5割を超えています。

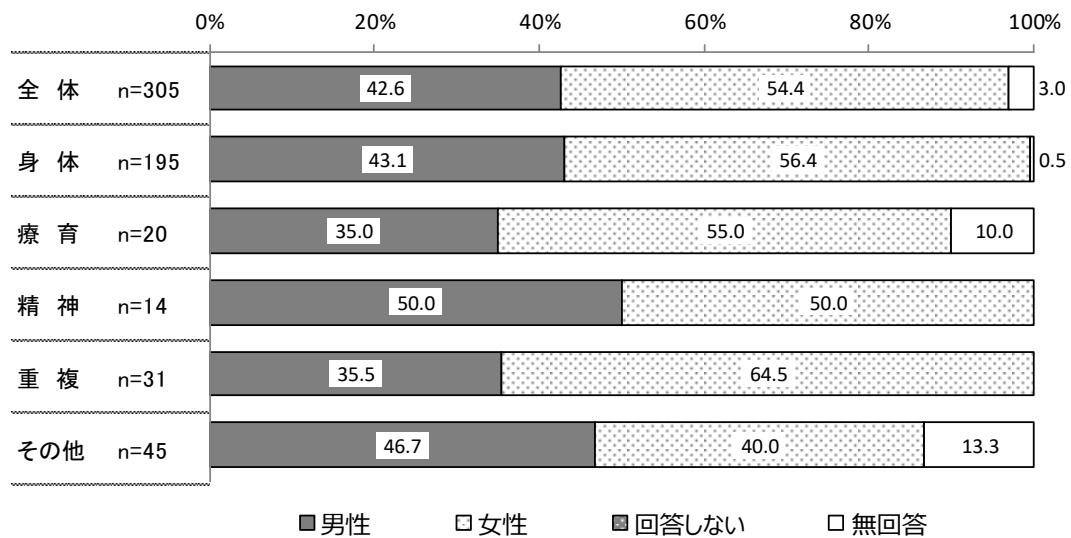


	調査数	問2 年齢													
		6歳未満	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答	
調査数	305	-	3.0	0.7	1.3	1.0	2.6	4.9	7.5	7.5	5.6	24.9	38.4	2.6	
障害別	身体	195	-	1.0	-	0.5	0.5	1.0	1.0	2.6	5.6	7.2	30.3	50.3	-
	療育	20	-	10.0	-	5.0	-	5.0	10.0	25.0	15.0	5.0	15.0	5.0	5.0
	精神	14	-	7.1	-	-	-	7.1	35.7	21.4	-	7.1	21.4	-	-
	重複	31	-	-	-	-	3.2	9.7	9.7	9.7	9.7	3.2	25.8	29.0	-
	その他	45	-	8.9	4.4	4.4	2.2	2.2	6.7	15.6	13.3	-	6.7	20.0	15.6

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

性別は、「男性」が42.6%、「女性」が54.4%となっています。

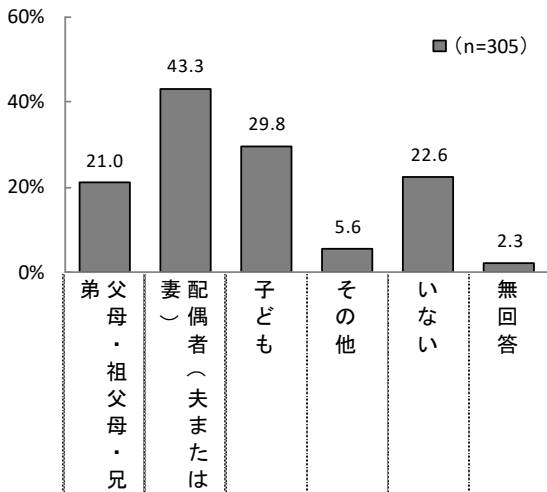
障がい別で見ると、身体や療育、重複では男性に比べ女性の占める割合が高くなっています。



問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

一緒に暮らしている人は、「配偶者（夫または妻）」が43.3%と最も多く、次いで「子ども」が29.8%、「父母・祖父母・兄弟」が21.0%となっています。また、「いない」と回答した人も約2割（22.6%）を占めています。

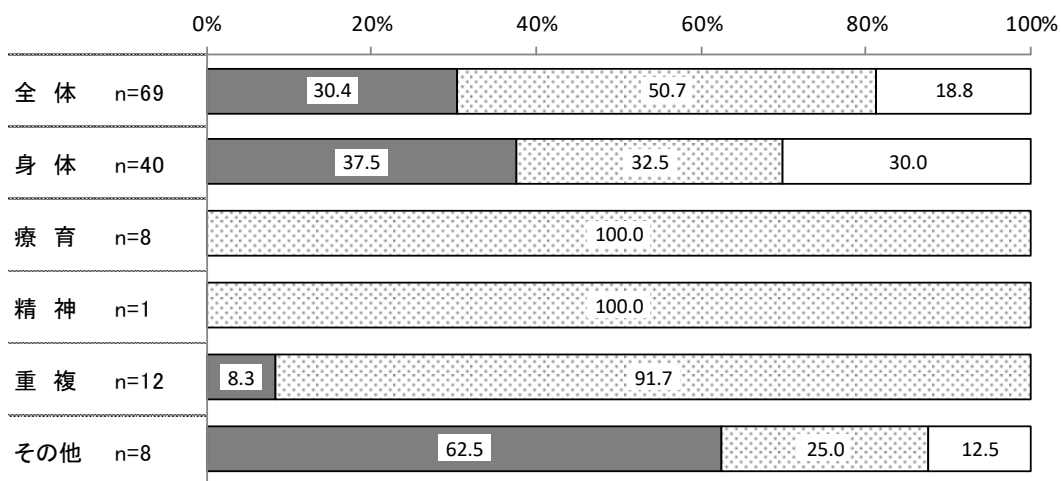
障がい別でみると、身体や重複では「配偶者（夫または妻）」が最も多く、療育や精神では、「父母・祖父母・兄弟」が最も多くなっています。また、療育や重複では「いない」と回答した人も約4割を占めています。



	調査数	一緒に暮らしている人						
		父母・祖父母・兄弟	配偶者（夫または妻）	子ども	その他	いない	無回答	
調査数	305	21.0	43.3	29.8	5.6	22.6	2.3	
障がい別	身体	195	11.3	51.3	38.5	7.7	20.5	-
	療育	20	50.0	5.0	-	-	40.0	5.0
	精神	14	50.0	42.9	7.1	-	7.1	-
	重複	31	16.1	41.9	19.4	-	38.7	-
	その他	45	44.4	26.7	20.0	4.4	17.8	13.3

一緒に暮らしている人がいない人（69人）に理由についてたずねたところ、「一人暮らしのため」が30.4%、「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が50.7%となっています。

障がい別でみると、身体では「一人暮らしのため」、その他では「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が多くなっています。

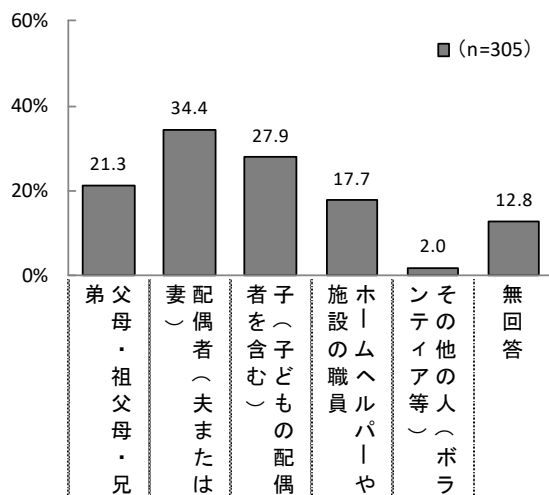


■一人暮らしのため □グループホーム、福祉施設等を利用しているため □無回答

問5 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

家族のなかで主に介助している方については、「配偶者」が34.4%と最も多く、次いで「子ども（子どもの配偶者を含む）」が27.9%、「父母・祖父母・兄弟」が21.3%となっています。

障がい別でみると、身体では「配偶者」が41.0%と最も多くなっています。療育では「ホームヘルパーや施設の職員」が55.0%と最も多くなっています。精神では「父母・祖父母・兄弟」が50.0%と最も多く、重複では「ホームヘルパーや施設の職員」が38.7%と最も多くなっています。

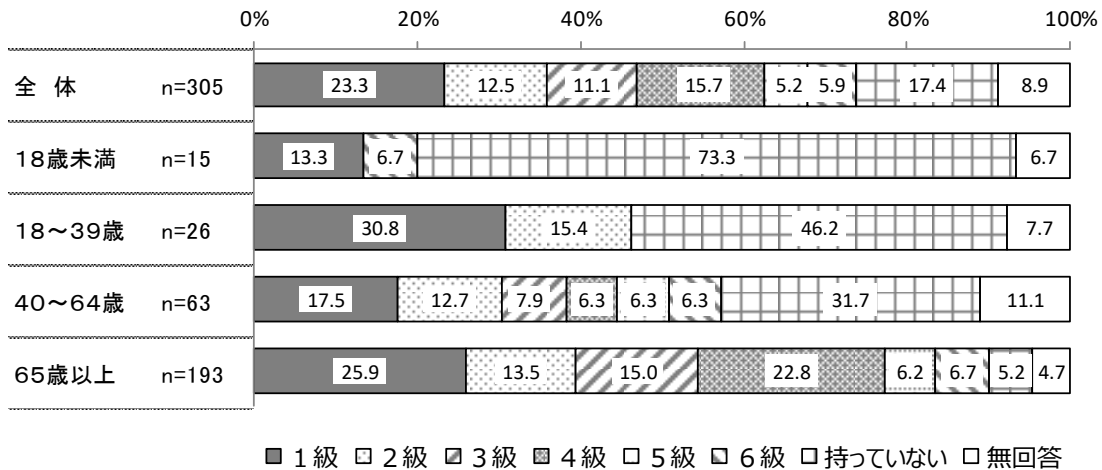


		調査数	問5 介助者					無回答
			父母・祖父母・兄弟	配偶者 (夫または妻)	子ども (子どもの配偶者を含む)	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	
調査数		305	21.3	34.4	27.9	17.7	2.0	12.8
障 害 別	身体	195	11.8	41.0	37.9	12.3	2.6	10.3
	療育	20	50.0	-	-	55.0	5.0	10.0
	精神	14	50.0	42.9	7.1	21.4	-	7.1
	重複	31	29.0	35.5	22.6	38.7	-	-
	その他	45	35.6	17.8	6.7	8.9	-	35.6

(2) 障がいの状況について

問6 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

身体障害者手帳の所持については、「持っている」*が73.7%、「持っていない」が17.4%となっています。持っている人の等級については「1級」が23.3%と最も多く、次いで「4級」が15.7%、「2級」が12.5%、「3級」が11.1%となっています。

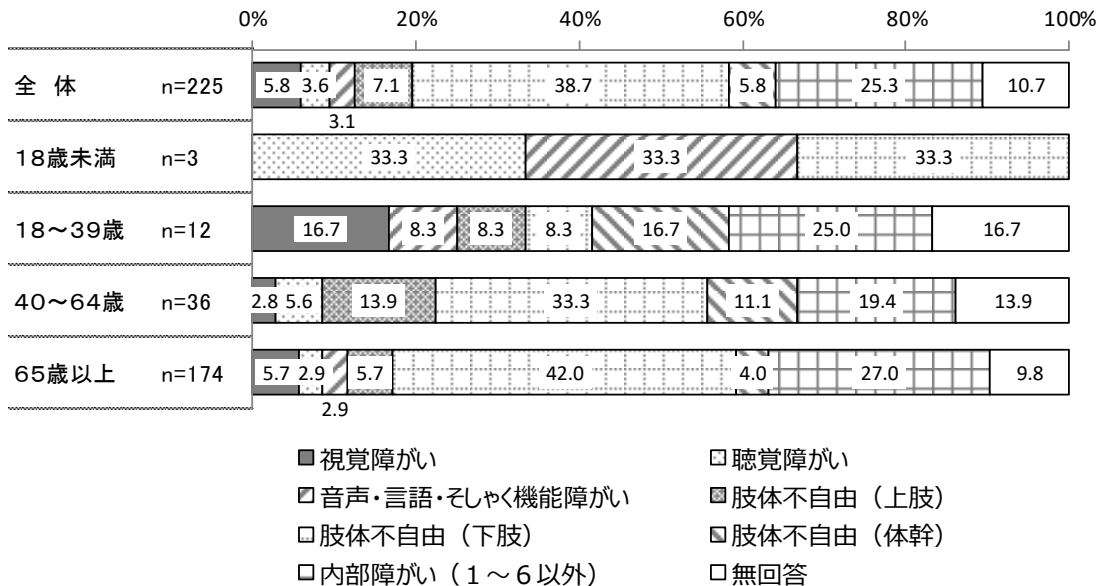


*「持っている」: 全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問7 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つだけ)

身体障がいの種類については、「肢体不自由(下肢)」が38.7%と最も多く、次いで「内部障がい(1～6以外)」が25.3%となっており、肢体不自由が全体の約5割(51.6%)を占めています。

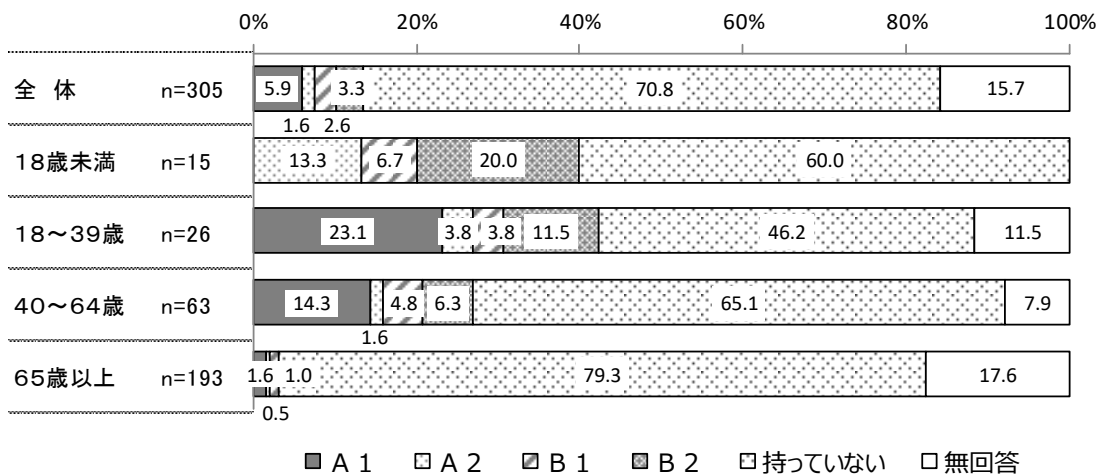
年齢別にみると、40歳以上では「肢体不自由(下肢)」が最も多くなっています。また、18～39歳では「内部障がい(1～6以外)」が25.0%と最も多くなっています。



問8 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

療育手帳については、「持っている」*が13.5%、「持っていない」が70.8%となっています。持っている人の等級については「A1」が5.9%、「B2」が3.3%、「B1判定」が2.6%、「A2」が1.6%となっています。

年齢別にみると、18歳未満で「B2判定」が20.0%、18～39歳、40～64歳で「A1判定」が23.1%、14.3%と最も多くなっています。

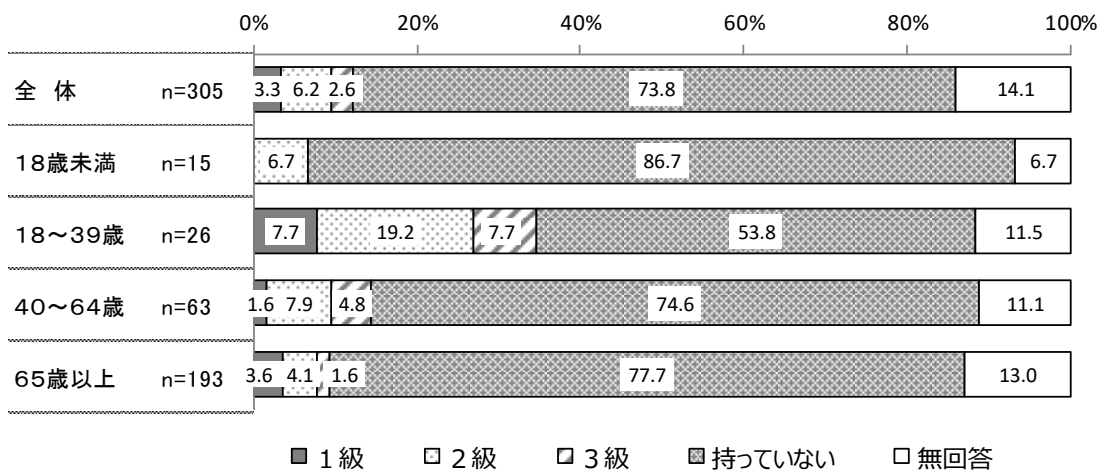


*「持っている」: 全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問9 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

精神障害者保健福祉手帳の所持については、「持っている」*が12.1%、「持っていない」が73.8%となっています。持っている人の等級については「1級」が3.3%、「2級」が6.2%、「3級」が2.6%となっています。

年齢別にみると、18～39歳で「2級」が多くなっています。

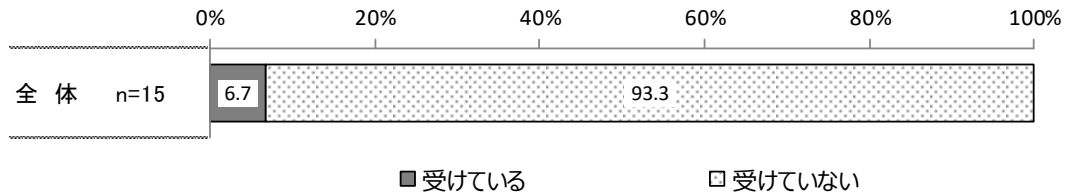


*「持っている」: 全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

【18歳未満の方のみお答えください】

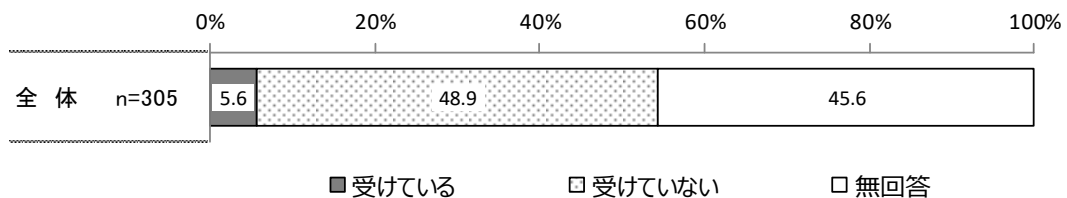
問 10 あなたは重症心身障害者の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

重症心身障害者の認定については、「受けている」が6.7%、「受けていない」が93.3%となっています。



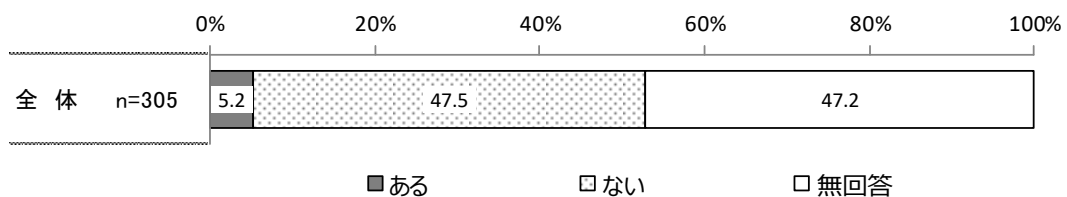
問 11 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

難病（指定難病）の認定については、「受けている」が5.6%、「受けていない」が48.9%となっています。



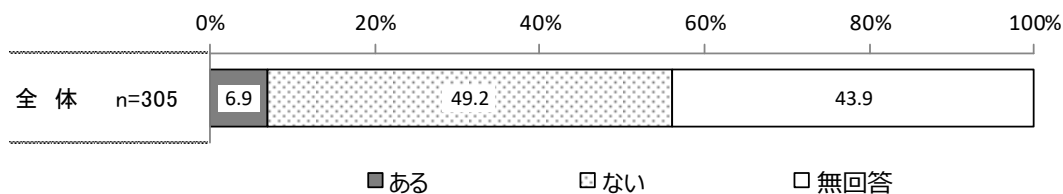
問 12 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

発達障害として診断されたことについては、「ある」が5.2%、「ない」が47.5%となっています。



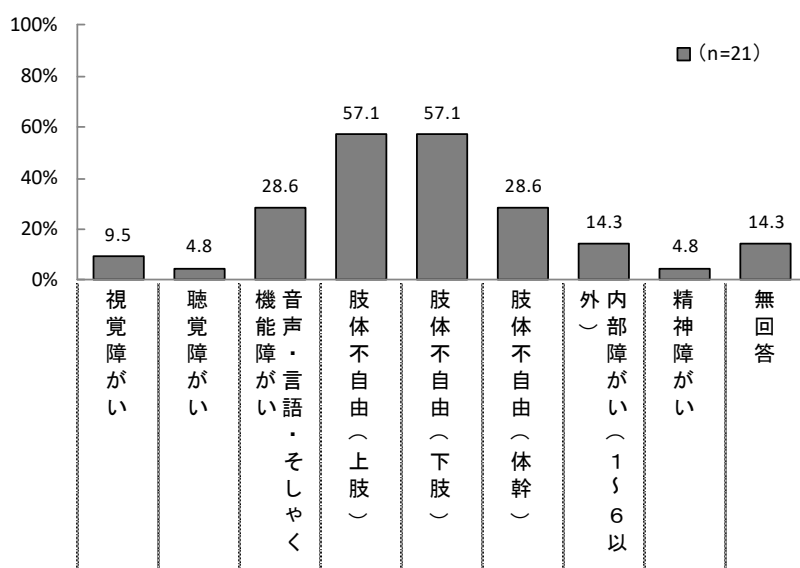
問 13 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。（○は1つだけ）

高次脳機能障害として診断されたことについては、「ある」が6.9%、「ない」が49.2%となっています。



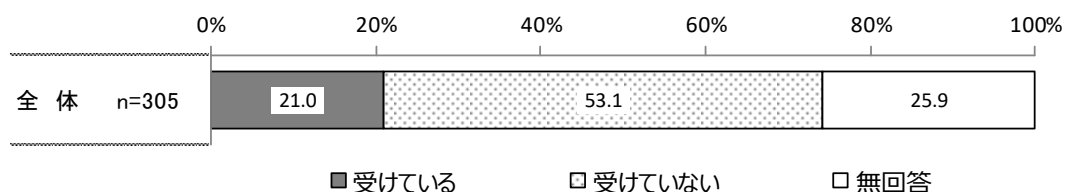
問 14 その関連障がいをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

高次脳機能障害として診断されたことがあると回答した人（21人）に関連障がいについてたずねたところ、「肢体不自由（上肢）」「肢体不自由（下肢）」が57.1%と最も多く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障がい」「肢体不自由（体幹）」が28.6%となっています。



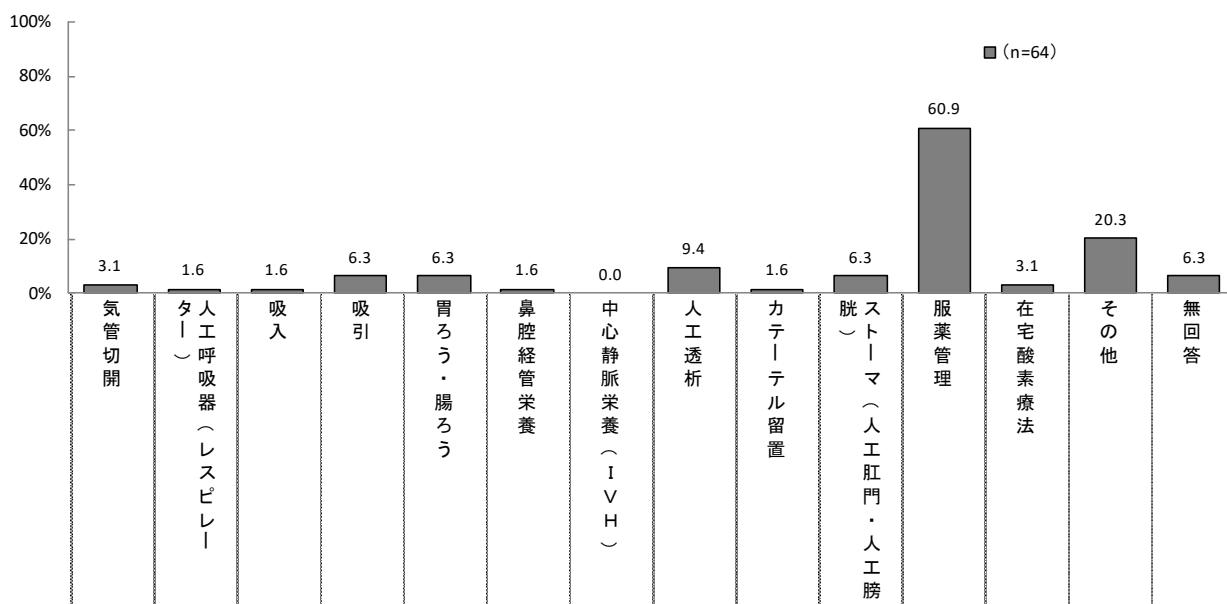
問 15 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)

医療的ケアについては、「受けている」が21.0%、「受けていない」が53.1%となっています。



問 16 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

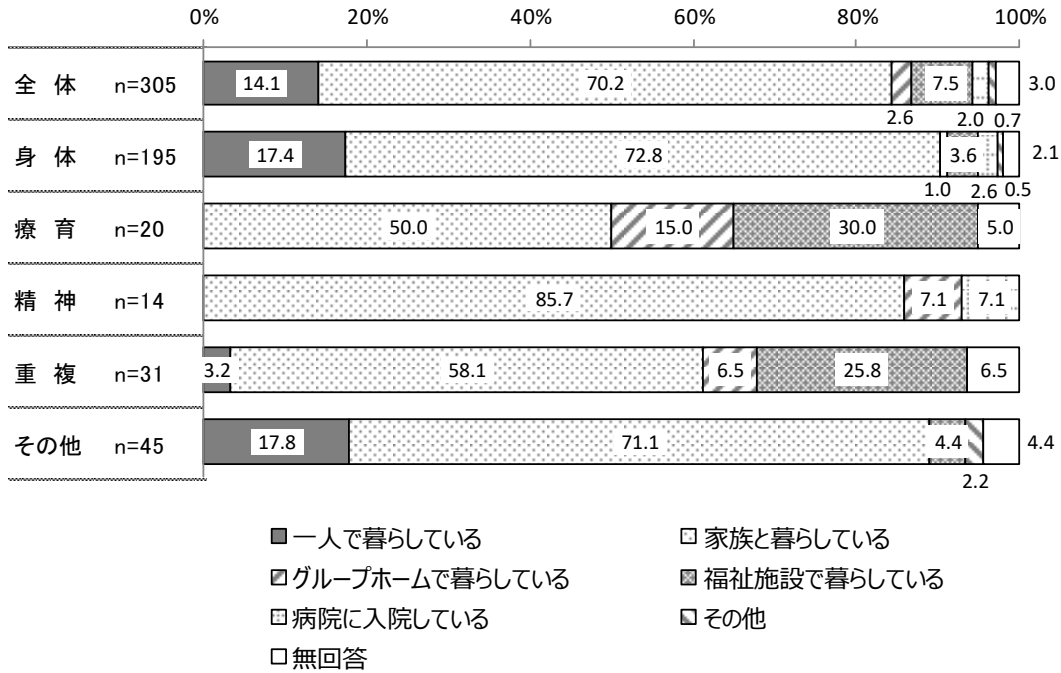
医療的ケアを受けていると回答した人(64人)に現在受けている医療的ケアについてたずねたところ、「服薬管理」が60.9%と最も多く、次いで「人工透析」が9.4%となっています。



(3) 住まいや暮らしについて

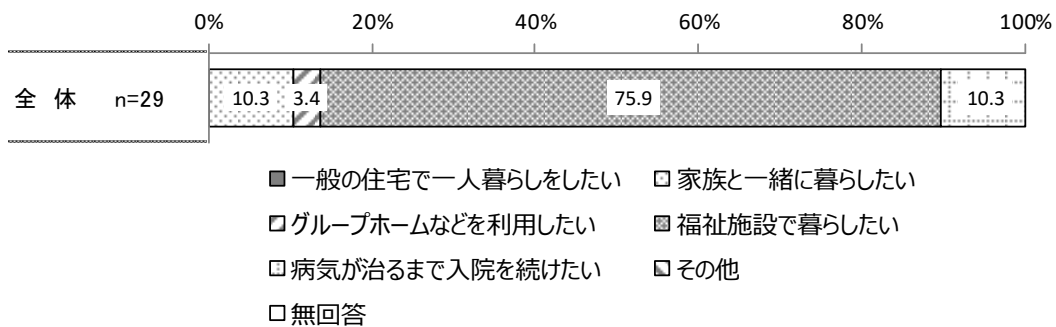
問 17 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

現在の暮らしについては、「家族と暮らしている」が70.2%と最も多くなっています。障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「家族と暮らしている」が半数以上を占めています。



問 18 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。(○は1つだけ)

福祉施設や病院に入院していると回答した人(29人)に今後3年以内に希望する暮らし方についてたずねたところ、「福祉施設で暮らしたい」が75.9%と最も多くなっています。

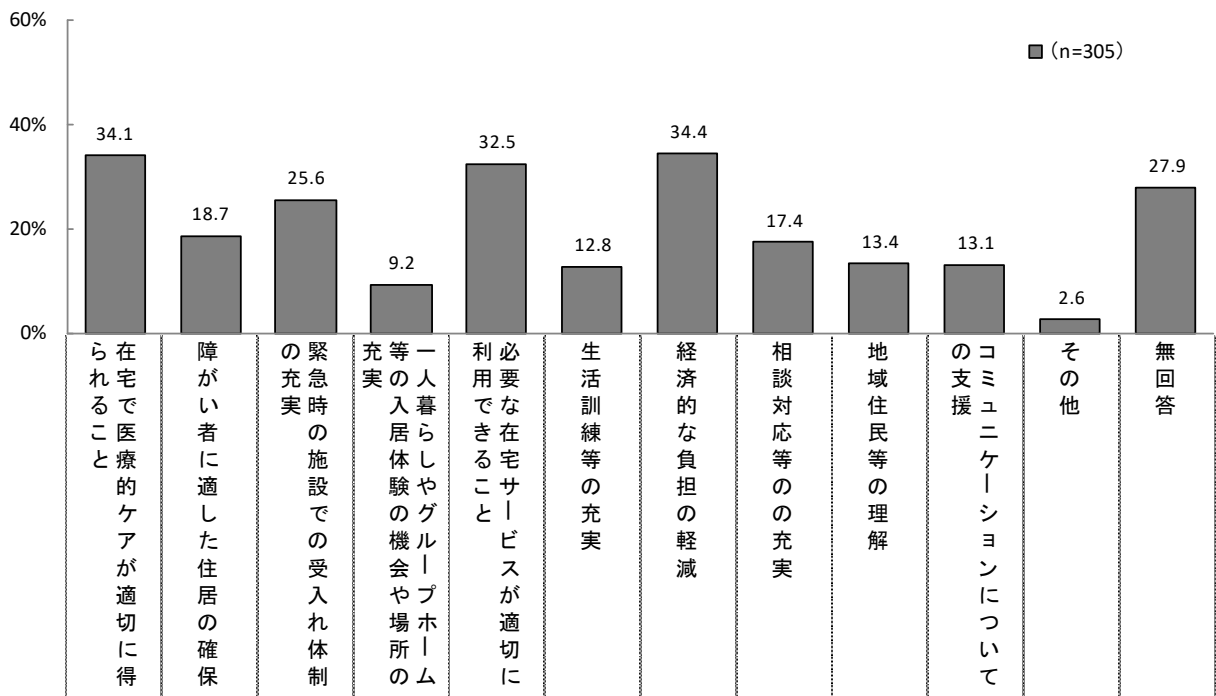


問 19 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

希望する暮らしを送るためには、必要な支援については、「経済的な負担の軽減」が34.4%と最も多く、次いで「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が34.1%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が32.5%となっています。

障がい別で見ると、身体では「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」、療育や重複では「緊急時の施設での受入れ体制の充実」、精神では「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。



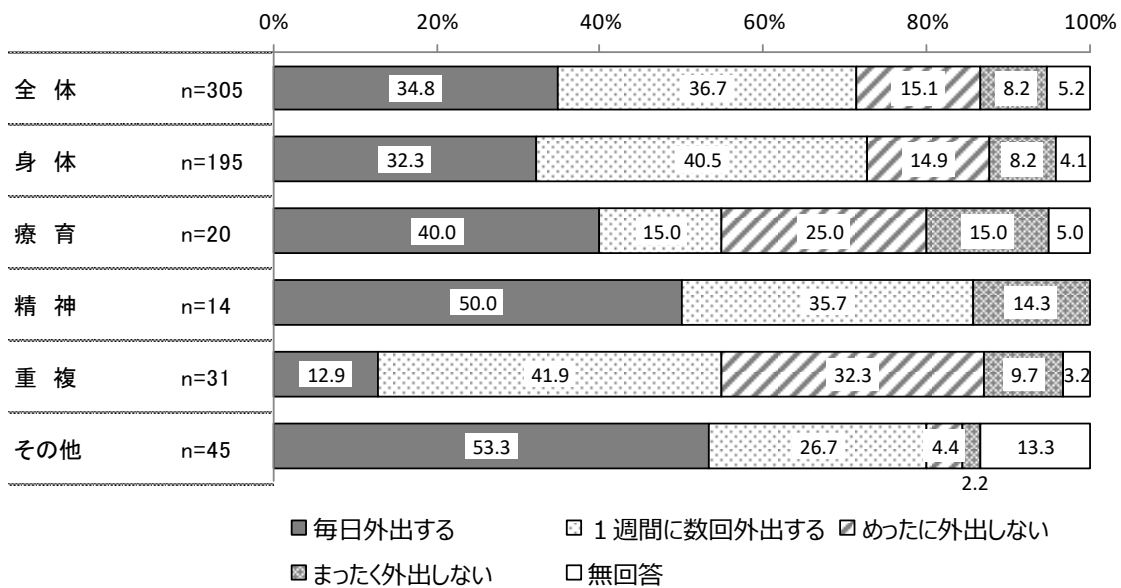
		問19 希望する暮らしを送るために必要な支援												
調査数		在宅で医療的ケアが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	緊急時の施設での受入れ体制の充実	一人暮らしやグループホーム等の入居体験の機会や場所の充実	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答	
調査数		305	34.1	18.7	25.6	9.2	32.5	12.8	34.4	17.4	13.4	13.1	2.6	27.9
障害別	身体	195	41.0	17.4	25.1	6.2	37.4	8.7	36.4	14.4	8.7	8.7	2.1	26.2
	療育	20	30.0	40.0	50.0	40.0	25.0	20.0	20.0	25.0	20.0	15.0	5.0	40.0
	精神	14	14.3	21.4	28.6	14.3	14.3	28.6	57.1	50.0	50.0	28.6	-	14.3
	重複	31	29.0	25.8	32.3	9.7	25.8	22.6	25.8	19.4	12.9	19.4	-	25.8
	その他	45	15.6	8.9	11.1	6.7	24.4	15.6	31.1	15.6	20.0	22.2	6.7	35.6

(4) 日中活動や就労について

問 20 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

1週間の外出の頻度については、「1週間に数回外出する」が36.7%と最も多く、次いで「毎日外出する」が34.8%、「めったに外出しない」が15.1%となっており、これらを合計した“外出する人”が約9割(86.6%)を占めています。一方、「まったく外出しない」人は8.2%となっています。

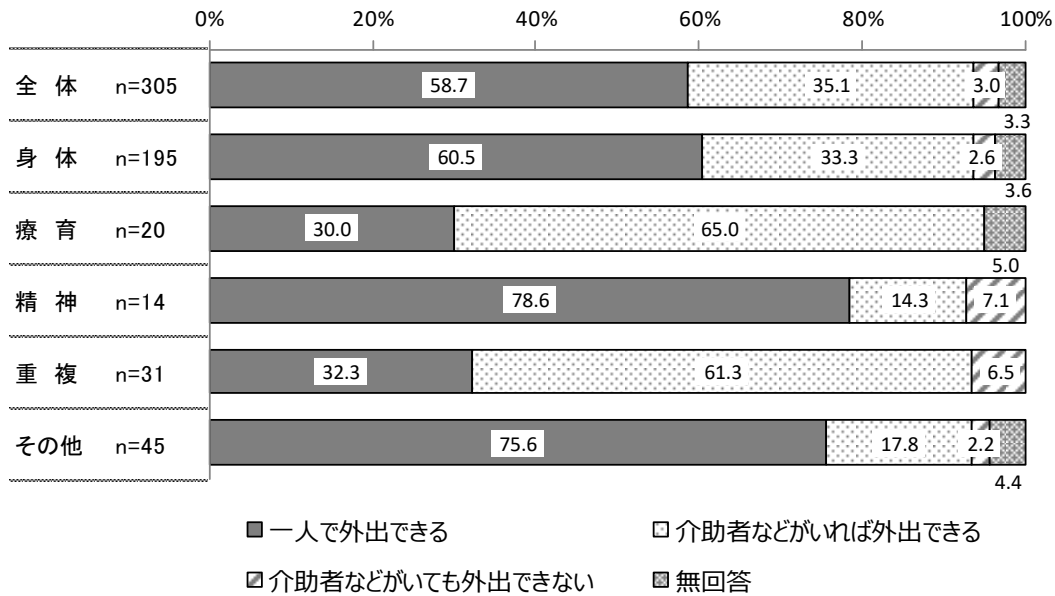
障がい別でみると、療育や精神では「毎日外出する」が最も多くなっています。身体、重複では「1週間に数回外出する」が最も多くなっています。



問 21 あなたは一人で外出できますか。(○は1つだけ)

一人で外出できるかについては、「一人で外出できる」が 58.7%と最も多く、次いで「介助者などがいれば外出できる」が 35.1%となっています。一方で「介助者などがいても外出できない」人は 3.0%となっています。

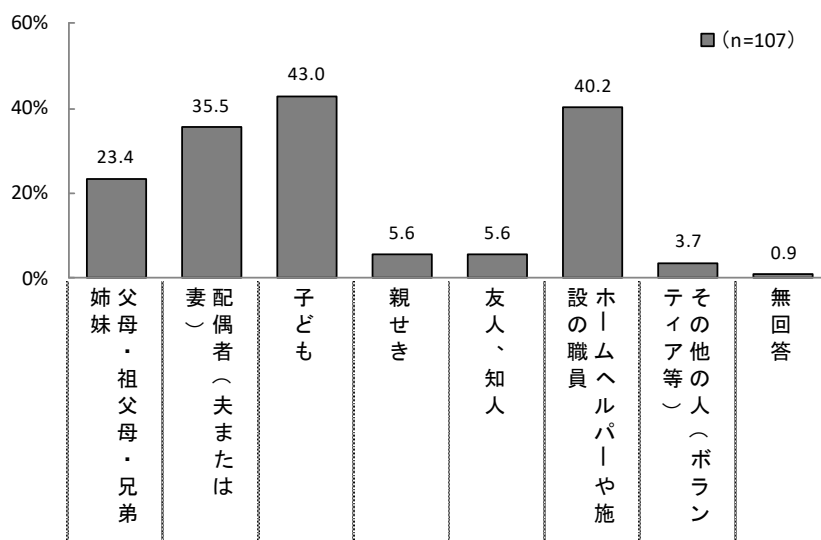
障がい別でみると、身体や精神では「一人で外出できる」が6割を超えています。一方で療育や重複では「介助者などがいれば外出できる」が6割を超え最も多くなっています。



問 22 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。（○は1つだけ）

介助者などがいれば外出できると回答した人（107人）に対し、外出する際の主な同伴者についてたずねたところ、「子ども」が43.0%と最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が40.2%、「配偶者（夫または妻）」が35.5%となっています。

障がい別でみると、身体では「子ども」が最も多くなっています。また、療育や重複では「ホームヘルパーや施設の職員」が最も多くなっています。

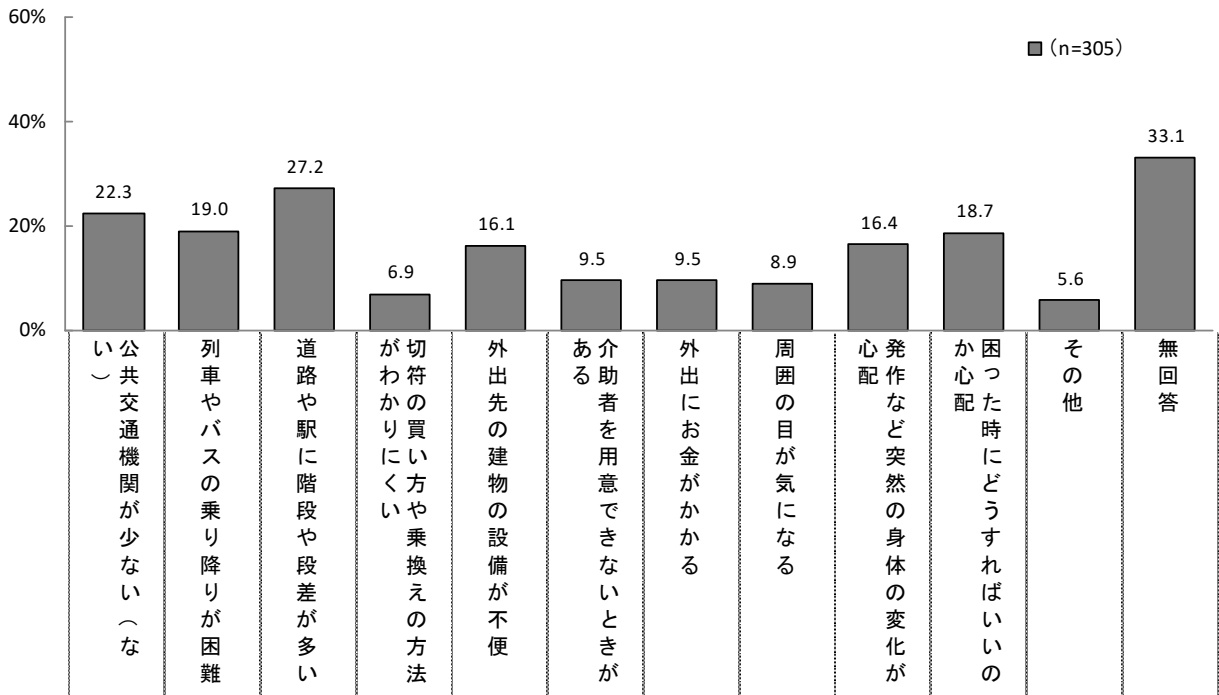


		調査数	問22 外出する際の同伴者							
			父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者（夫または妻）	子ども	親せき	友人、知人	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人（ボランティア等）	無回答
調査数		107	23.4	35.5	43.0	5.6	5.6	40.2	3.7	0.9
障 害 別	身体	65	9.2	44.6	55.4	1.5	-	29.2	1.5	1.5
	療育	13	61.5	-	-	7.7	15.4	84.6	15.4	-
	精神	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	重複	19	42.1	26.3	31.6	5.3	10.5	47.4	5.3	-
	その他	8	25.0	37.5	50.0	37.5	12.5	50.0	-	-

問 23 外出する時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

外出時に困ることについては、「道路や駅に階段や段差が多い」が27.2%と最も多く、次いで「公共交通機関が少ない（ない）」が22.3%、「列車やバスの乗り降りが困難」が19.0%、「困った時にどうすればいいのか心配」が18.7%となっています。

障がい別でみると、身体では「道路や駅に階段や段差が多い」が34.4%と最も多く、次いで「列車やバスの乗り降りが困難」が23.6%となっています。また、療育では「公共交通機関が少ない（ない）」、精神では「困った時にどうすればいいのか心配」、重複では「介助者を用意できないときがある」が最も多くなっています。

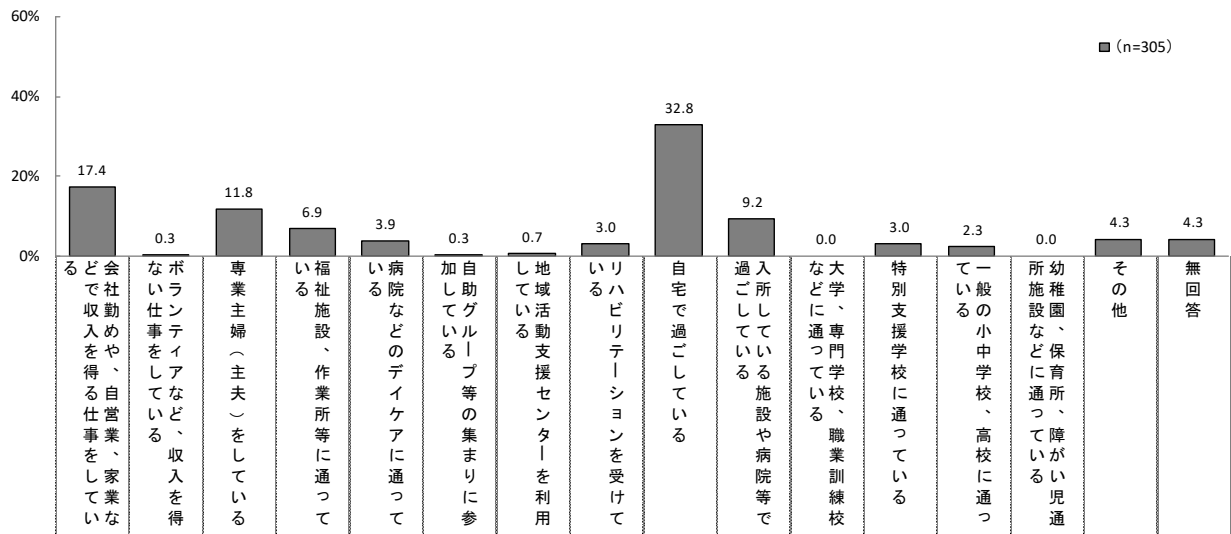


	調査数	問23 外出する際に困ること												
		公共交通機関が少ない（ない）	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便	介助者を用意できないときがある	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答	
調査数	305	22.3	19.0	27.2	6.9	16.1	9.5	9.5	8.9	16.4	18.7	5.6	33.1	
障害別	身体	195	22.1	23.6	34.4	5.1	18.5	8.2	6.7	7.2	16.4	14.9	6.7	29.7
	療育	20	40.0	10.0	5.0	20.0	10.0	15.0	-	10.0	5.0	35.0	-	45.0
	精神	14	35.7	7.1	7.1	14.3	7.1	-	14.3	35.7	35.7	57.1	21.4	21.4
	重複	31	3.2	12.9	19.4	12.9	12.9	29.0	16.1	16.1	22.6	22.6	-	38.7
	その他	45	24.4	11.1	17.8	2.2	13.3	2.2	20.0	2.2	11.1	13.3	2.2	42.2

問 24 あなたは、日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

平日の主な過ごし方については、「自宅で過ごしている」が32.8%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が17.4%、「専業主婦（主夫）をしている」が11.8%となっています。

障がい別でみると、身体や重複では「自宅で過ごしている」が最も多くなっています。また、療育では「福祉施設、作業所等に通っている」「入所している施設や病院等で過ごしている」、精神では「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」が最も多くなっています。



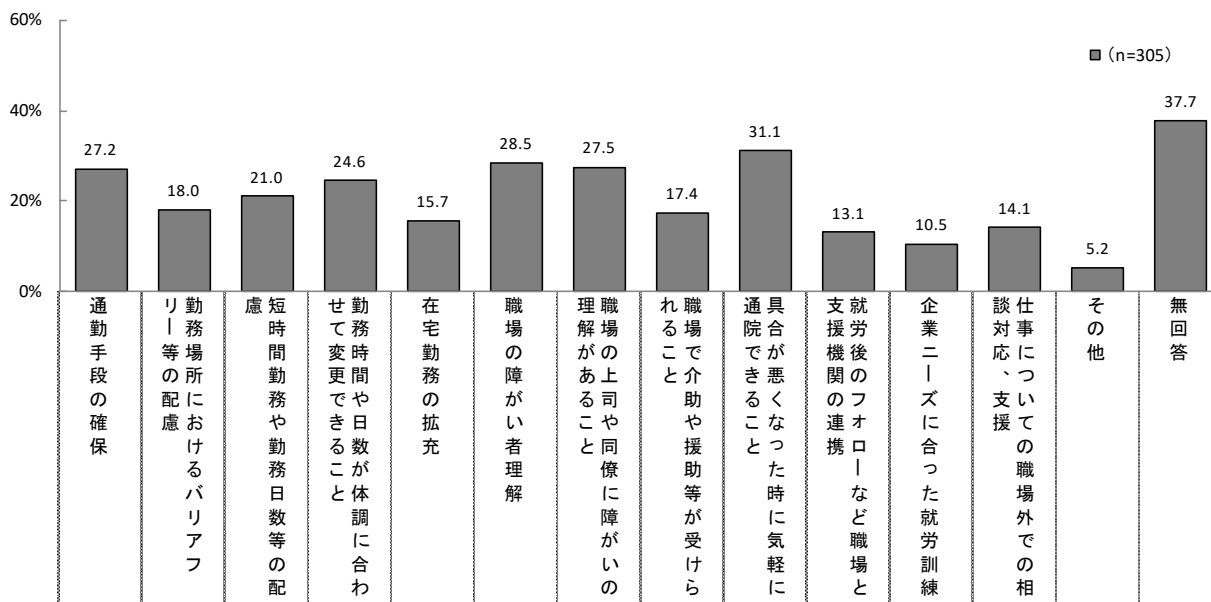
		問24 平日の主な過ごし方																
調査数		会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所等に通っている	病院などのデイケアに通っている	自助グループ等の集まりに参加している	地域活動支援センターを利用している	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校に通っている	一般の小学校、中学校に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている	その他	無回答	
調査数	305	17.4	0.3	11.8	6.9	3.9	0.3	0.7	3.0	32.8	9.2	-	3.0	2.3	-	4.3	4.3	
障 害 別	身体	195	15.4	-	13.3	2.6	4.1	-	0.5	3.6	43.6	6.2	-	1.5	-	-	5.1	4.1
	療育	20	10.0	5.0	-	30.0	-	-	-	-	5.0	30.0	-	15.0	-	-	-	5.0
	精神	14	35.7	-	-	21.4	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	7.1	-	7.1	-
	重複	31	6.5	-	9.7	19.4	3.2	3.2	3.2	-	29.0	19.4	-	-	-	-	3.2	3.2
	その他	45	31.1	-	15.6	2.2	2.2	-	-	4.4	6.7	8.9	-	6.7	13.3	-	2.2	6.7

問 25 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がい者の就労支援として必要なことについては、「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」が31.1%と最も多く、次いで「職場の障がい者理解」が28.5%、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が27.5%、「通勤手段の確保」が27.2%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が24.6%、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が21.0%となっており、障がい者の就労に対するニーズは多岐に渡っています。

障がい別でみると、身体、精神、重複では「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」が最も多くなっています。また、重複では「職場の障がい者理解」、療育では「通勤手段の確保」、精神では「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」「職場の障がい者理解」が多くなっています。



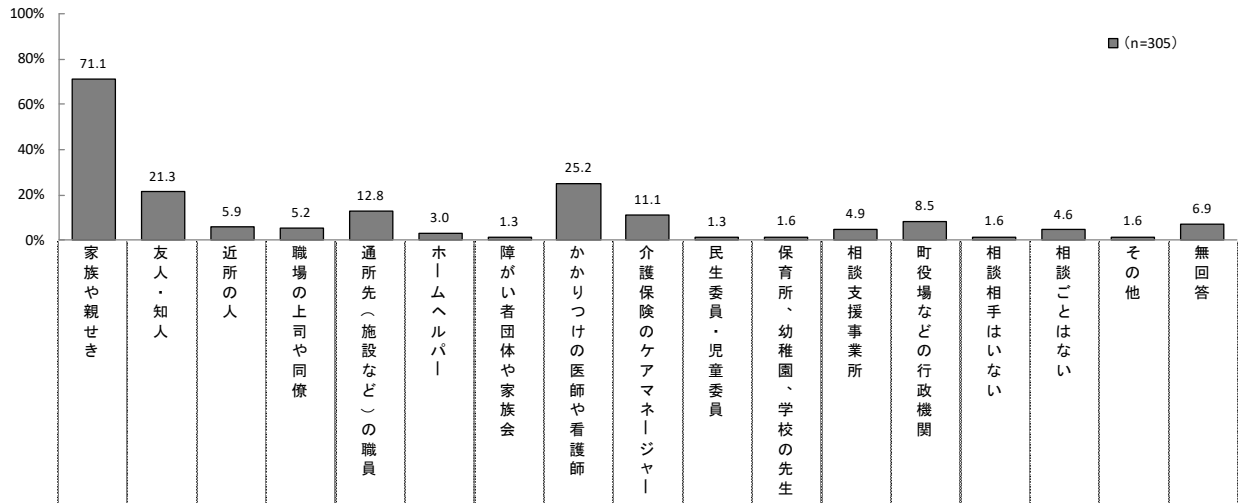
		問25 障がい者の就労支援として必要なこと														
		調査数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	在宅勤務の拡充	職場の障がい者理解	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	具合が悪くなった時に気軽に通院できること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
調査数		305	27.2	18.0	21.0	24.6	15.7	28.5	27.5	17.4	31.1	13.1	10.5	14.1	5.2	37.7
障害別	身体	195	23.6	19.0	18.5	23.6	15.4	26.7	24.6	14.4	30.3	9.2	7.7	8.7	4.1	39.5
	療育	20	50.0	25.0	20.0	25.0	20.0	30.0	35.0	20.0	30.0	30.0	20.0	25.0	20.0	40.0
	精神	14	28.6	14.3	50.0	57.1	28.6	57.1	50.0	42.9	57.1	7.1	28.6	35.7	7.1	21.4
	重複	31	22.6	12.9	16.1	12.9	9.7	25.8	22.6	16.1	25.8	12.9	6.5	19.4	3.2	38.7
	その他	45	35.6	15.6	26.7	26.7	15.6	28.9	33.3	22.2	31.1	24.4	15.6	22.2	4.4	33.3

(5) 相談相手・情報収集について

問 26 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

普段、悩みや困ったことの相談者については、「家族や親せき」が71.1%と最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が25.2%、「友人・知人」が21.3%となっています。

障がい別で見ると、いずれの障がいにおいても「家族や親せき」が最も多くなっています。また、療育では「通所先（施設など）の職員」も多くなっています。次いで身体や精神では「かかりつけの医師や看護師」、重複では「通所先（施設など）の職員」があげられています。



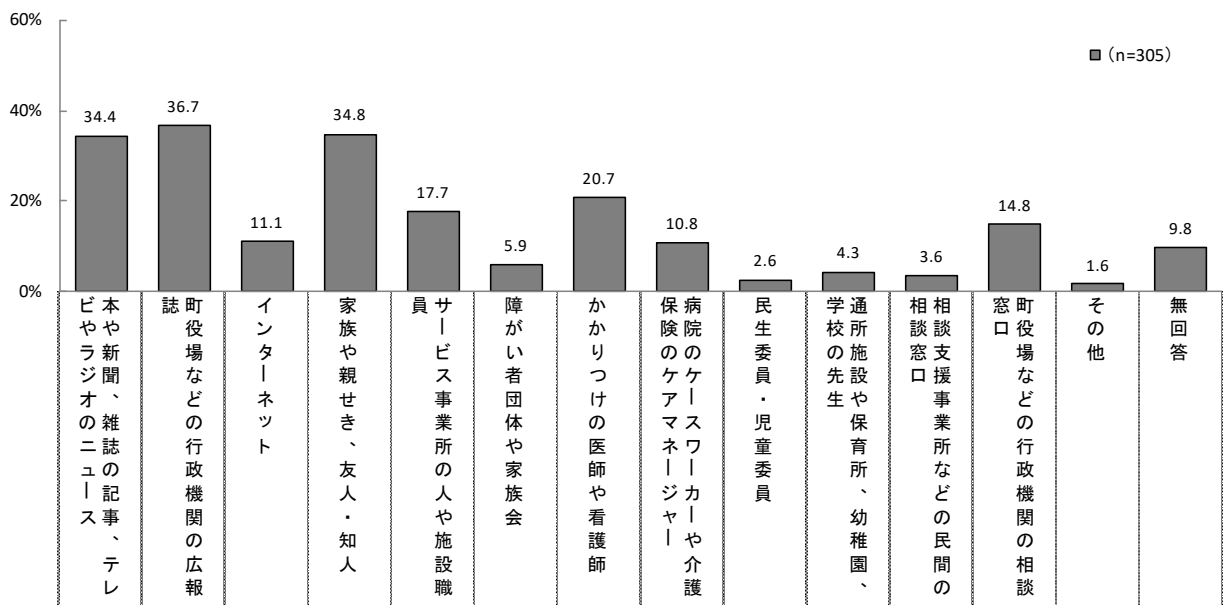
		問26 普段、悩みや困ったときの相談者																	
調査数		家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	通所先（施設など）の職員	ホームヘルパー	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所	町役場などの行政機関	相談相手はいない	相談ことはない	その他	無回答	
調査数		305	71.1	21.3	5.9	5.2	12.8	3.0	1.3	25.2	11.1	1.3	1.6	4.9	8.5	1.6	4.6	1.6	6.9
障 害 別	身体	195	75.4	23.6	7.2	4.1	4.6	3.1	0.5	24.6	15.9	1.0	0.5	3.1	8.2	1.5	3.6	2.6	6.7
	療育	20	45.0	5.0	-	10.0	45.0	-	5.0	5.0	-	5.0	10.0	10.0	5.0	-	15.0	-	10.0
	精神	14	71.4	28.6	7.1	7.1	42.9	7.1	-	57.1	-	-	-	28.6	35.7	-	-	-	-
	重複	31	71.0	9.7	6.5	-	25.8	6.5	3.2	22.6	9.7	3.2	-	9.7	6.5	-	3.2	-	6.5
	その他	45	64.4	24.4	2.2	11.1	15.6	-	2.2	28.9	-	-	4.4	-	4.4	4.4	6.7	-	8.9

問 27 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を知る媒体については、「町役場などの行政機関の広報誌」が36.7%と最も多く、次いで「家族や親せき、友人・知人」が34.8%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が34.4%となっています。

障がい別で見ると、身体では「町役場などの行政機関の広報誌」「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」、療育では「サービス事業所の人や施設職員」「家族や親せき、友人・知人」、精神では「かかりつけの医師や看護師」、重複では「家族や親せき、友人・知人」があげられています。



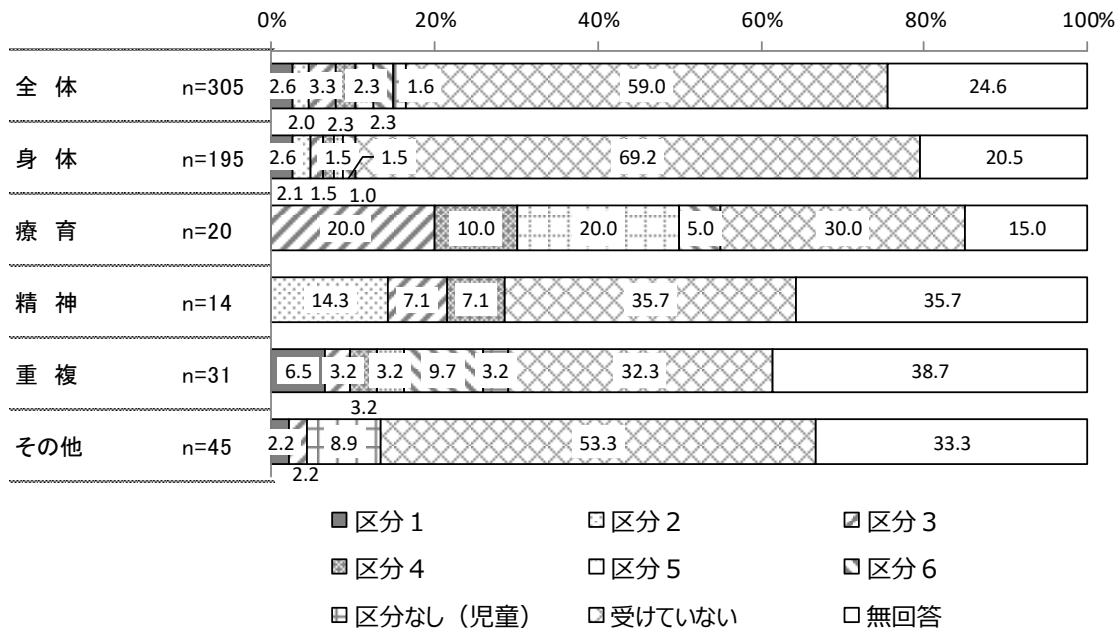
		問27 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報の入手先														
調査数		本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	町役場などの行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケアマネージャーや介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	町役場などの行政機関の相談窓口	その他	無回答	
調査数		305	34.4	36.7	11.1	34.8	17.7	5.9	20.7	10.8	2.6	4.3	3.6	14.8	1.6	9.8
障害別	身体	195	39.5	46.2	10.3	37.4	10.8	4.1	19.0	12.8	2.6	3.1	2.6	15.4	1.5	8.7
	療育	20	5.0	10.0	5.0	35.0	55.0	15.0	10.0	5.0	-	15.0	10.0	20.0	5.0	15.0
	精神	14	35.7	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	50.0	7.1	-	-	21.4	7.1	7.1	7.1
	重複	31	16.1	16.1	12.9	32.3	29.0	9.7	25.8	6.5	3.2	3.2	-	9.7	-	12.9
	その他	45	37.8	22.2	11.1	26.7	17.8	4.4	20.0	8.9	4.4	6.7	2.2	15.6	-	11.1

(6) 障がい福祉サービス等の利用について

問 28 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

障害支援区分の認定については、「受けている」が14.8%、「受けていない」が59.0%となっています。

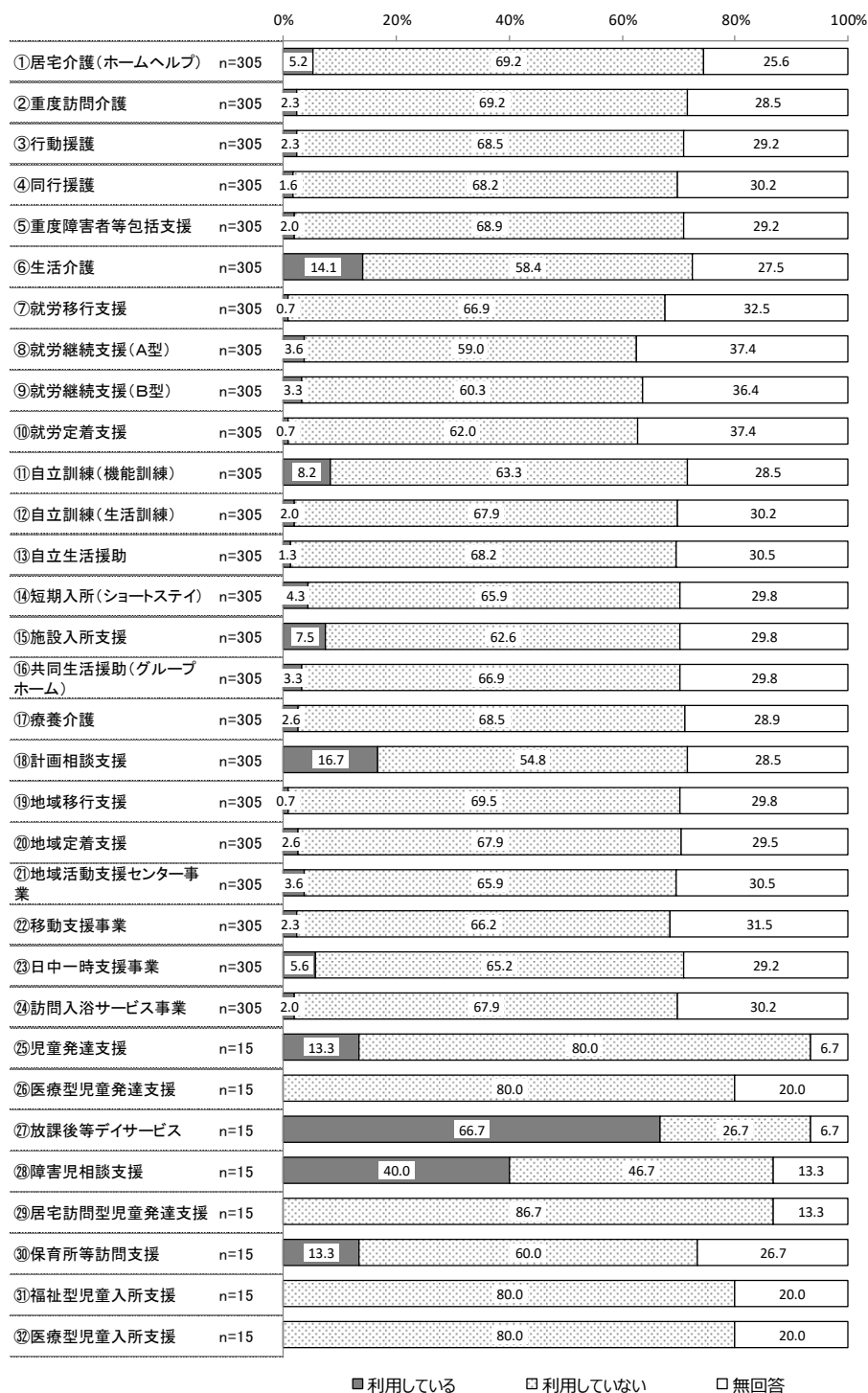
障がい別で見ると、「受けている」人は、身体では10.2%、療育では55.0%、精神では28.5%、重複では29.0%となっています。



問 29 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えていますか。(①から⑳のそれぞれについて、「A. 現在利用しているか」と「B. 今後利用したいか」の両方にお答えください。(番号に○)㉕から㉗については、児童向けのサービスになりますので、該当する方のみお答えください。

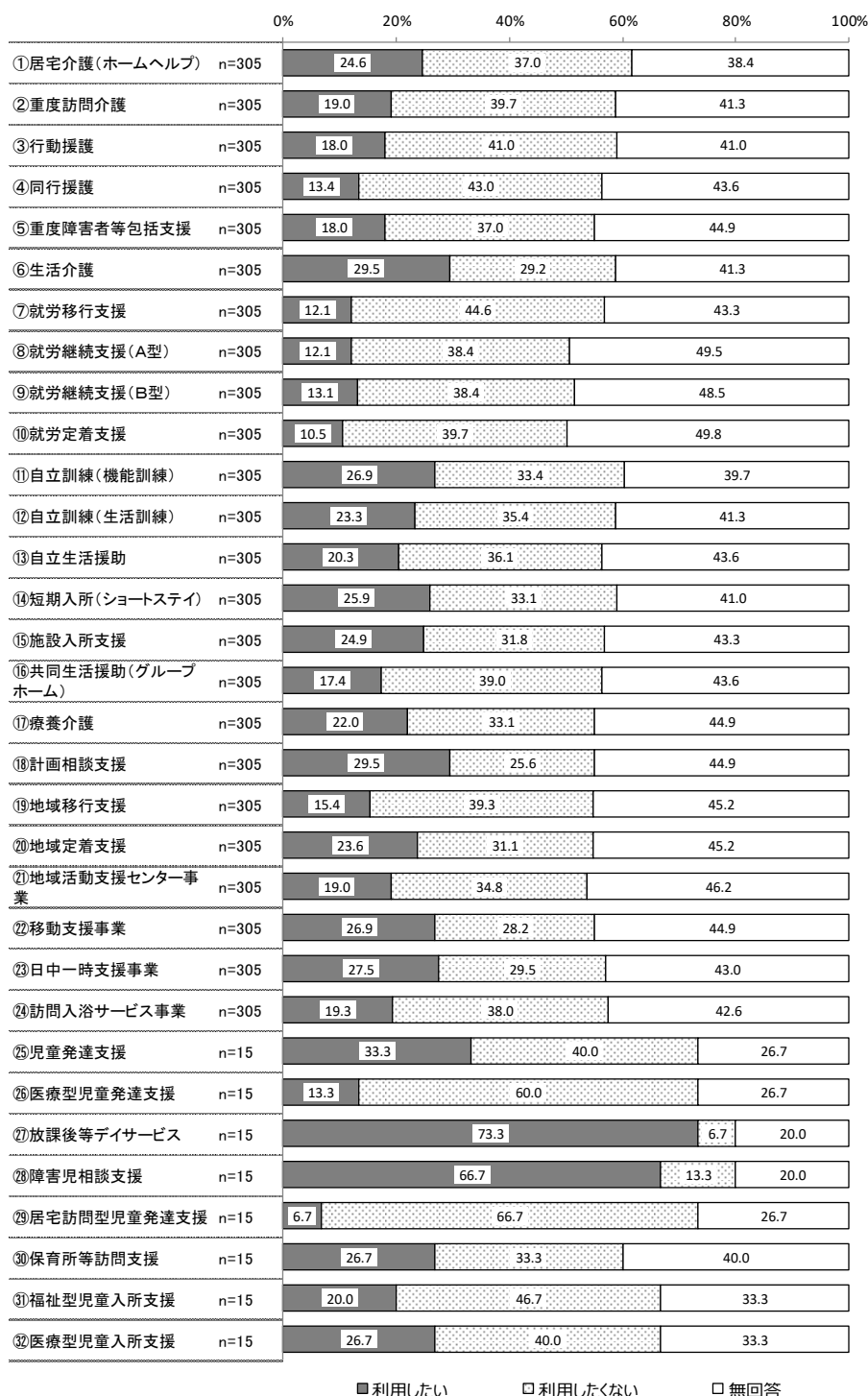
障がい福祉サービスの利用状況については、「利用している」と回答が多いサービスは、「⑱計画相談支援」が16.7%と最も多く、次いで「⑥生活介護」が14.1%となっています。

障がい児向けサービスでは、「㉗放課後等デイサービス」が66.7%と最も多く、次いで「㉘障害児相談支援」が40.0%となっています。



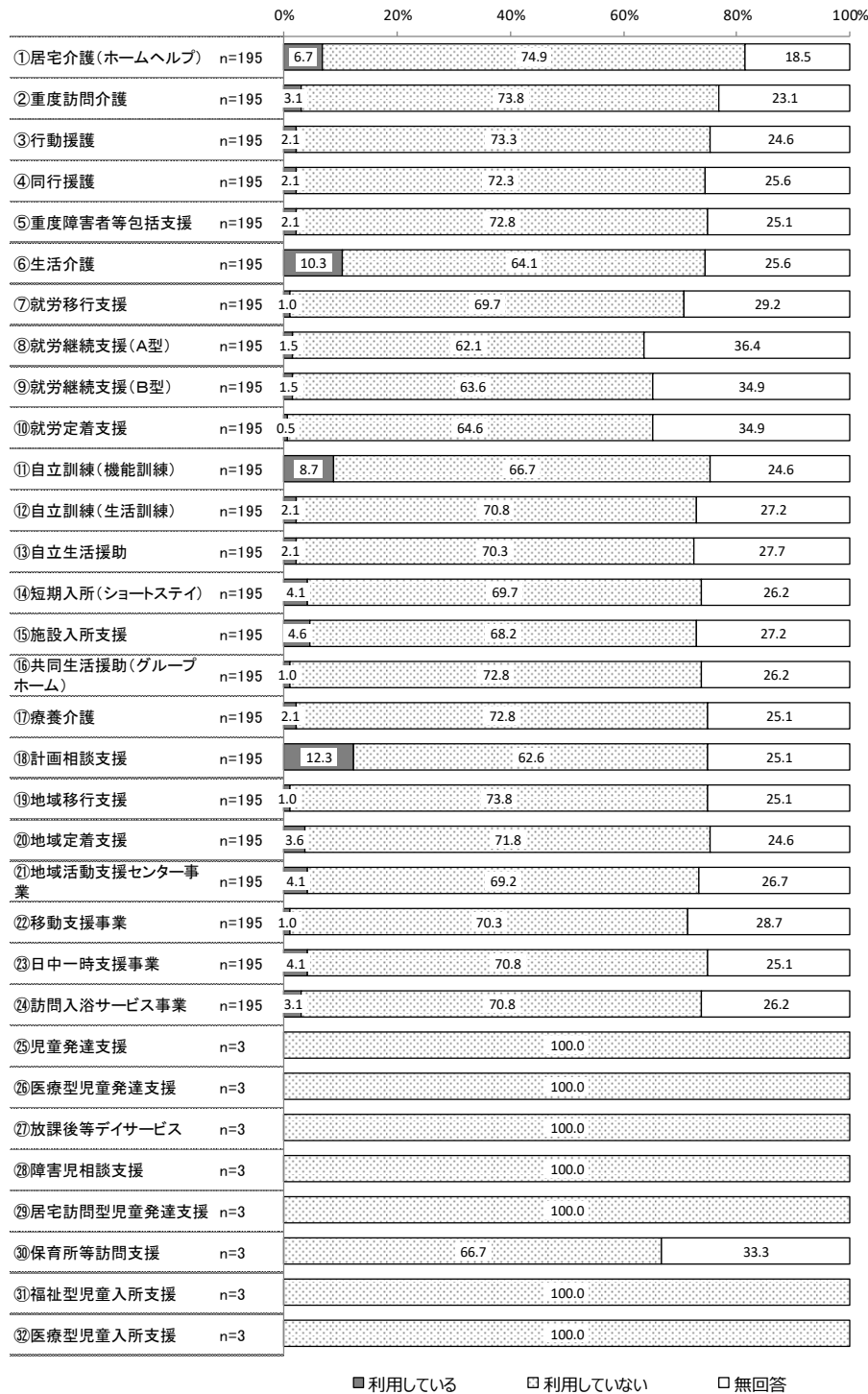
今後利用したいサービスについては、「⑥生活介護」「⑱計画相談支援」が29.5%と最も多く、次いで「㉓日中一時支援事業」が27.5%、「⑪自立訓練（機能訓練）」「㉒移動支援事業」が26.9%、「⑭短期入所（ショートステイ）」が25.9%となっています。

児童向けサービスでは、「㉗放課後等デイサービス」が73.3%と最も多く、次いで「㉘障害児相談支援」が66.7%となっています。



【利用状況（身体）】

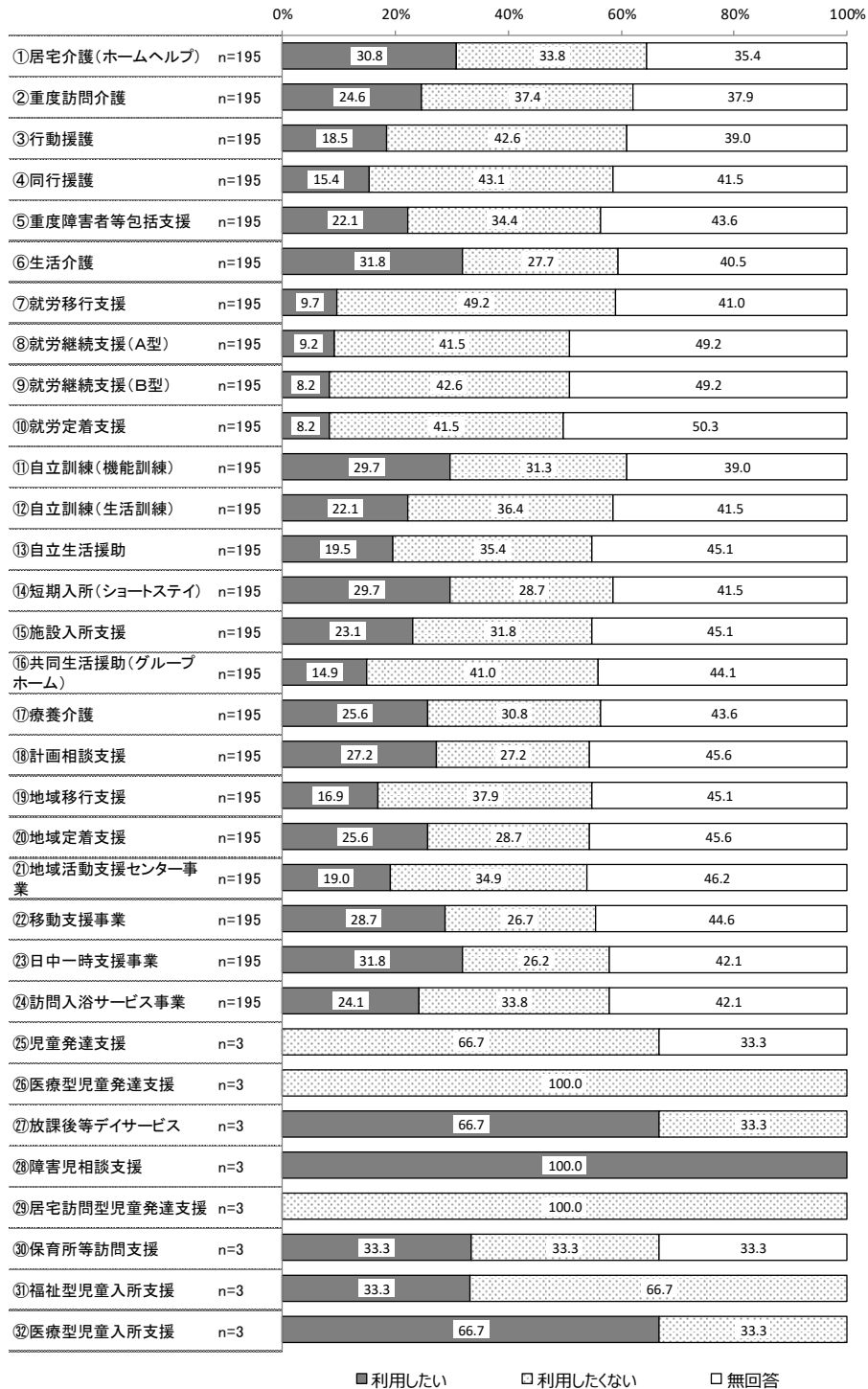
障がい福祉サービスの利用状況については、身体では「利用している」と回答が多いサービスは、「⑩計画相談支援」が12.3%と最も多く、次いで「⑥生活介護」が10.3%となっています。



【利用意向（身体）】

今後利用したいサービスについては、身体では「⑥生活介護」「⑳日中一時支援事業」が31.8%と最も多く、次いで「①居宅介護（ホームヘルプ）」が30.8%となっています。

児童向けサービスでは、「㉘障害児相談支援」が100.0%と最も多く、次いで「㉗放課後等デイサービス」「㉚医療型児童入所支援」が66.7%となっています。

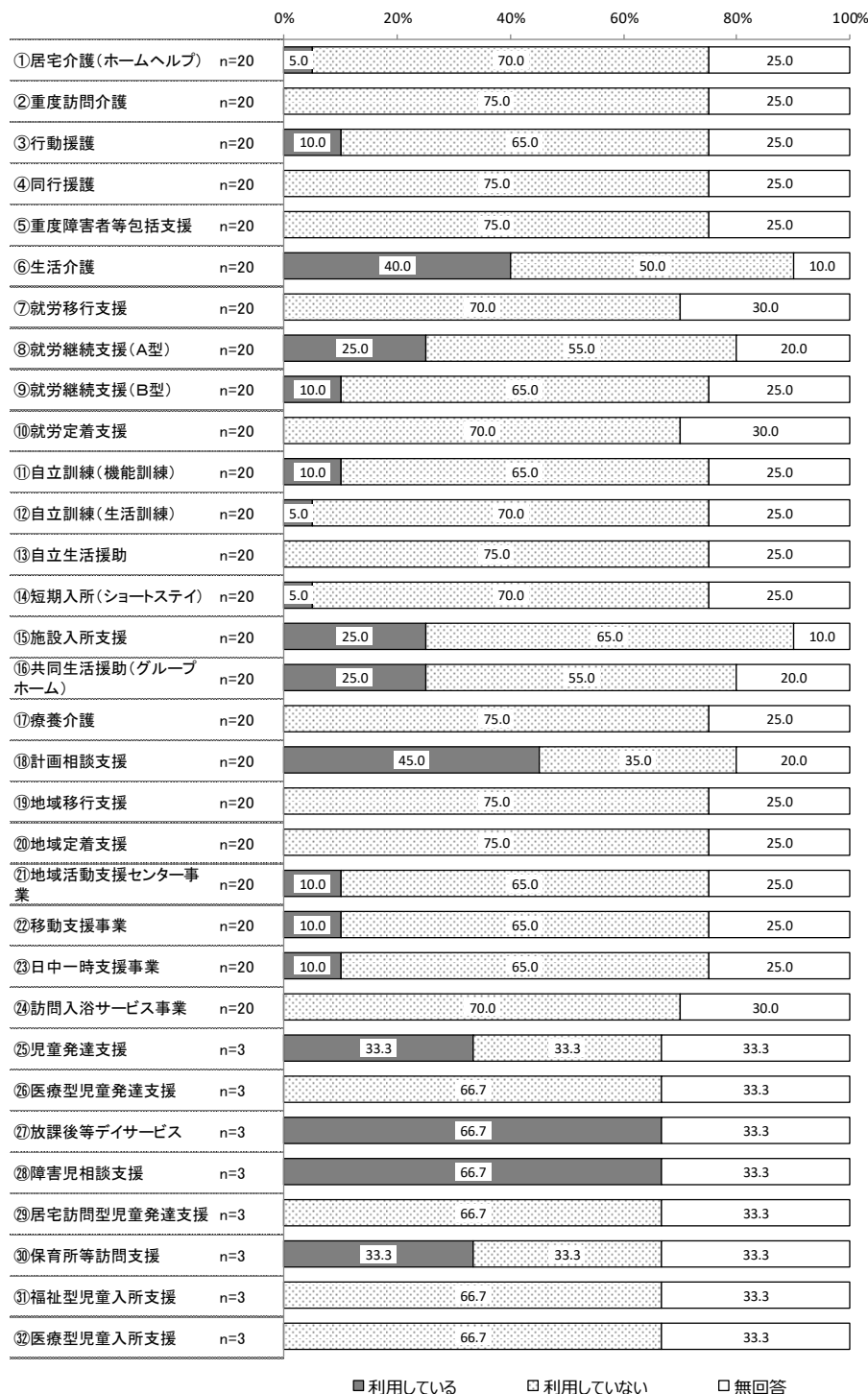


■ 利用したい □ 利用したくない □ 無回答

【利用状況（療育）】

障がい福祉サービスの利用状況については、療育では「利用している」と回答が多いサービスは、「⑱計画相談支援」が45.0%と最も多く、次いで「⑥生活介護」が40.0%となっています。

児童向けサービスでは、「㉗放課後等デイサービス」「㉘障害児相談支援」が66.7%と最も多くなっています。

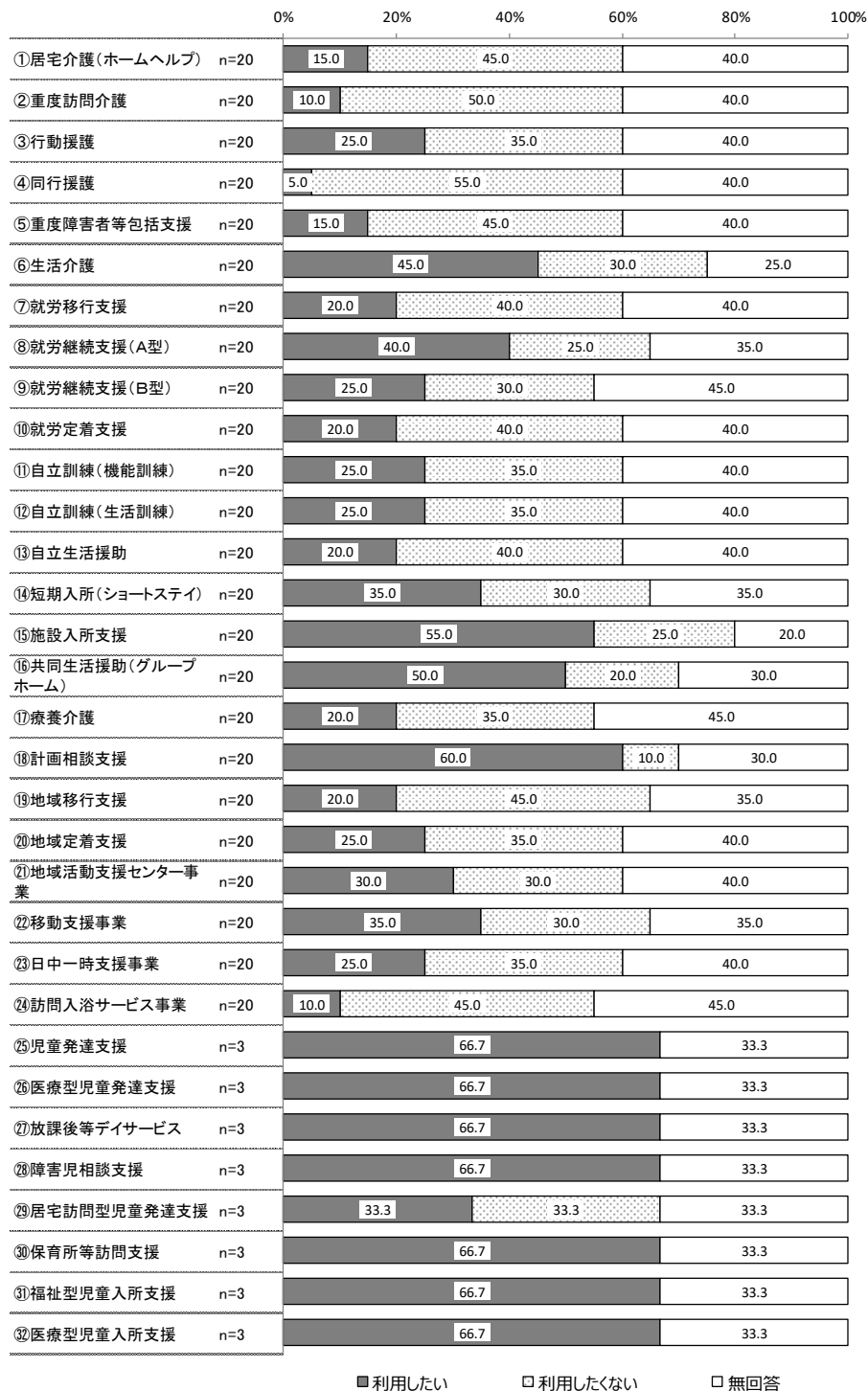


■ 利用している □ 利用していない □ 無回答

【利用意向（療育）】

今後利用したいサービスについては、療育では「⑱計画相談支援」が60.0%と最も多く、次いで「⑮施設入所支援」が55.0%、「⑯共同生活援助（グループホーム）」が50.0%となっています。

児童向けサービスでは、「㉙居宅訪問型児童発達支援」を除いては、いずれのサービスにおいても利用希望が66.7%となっています。

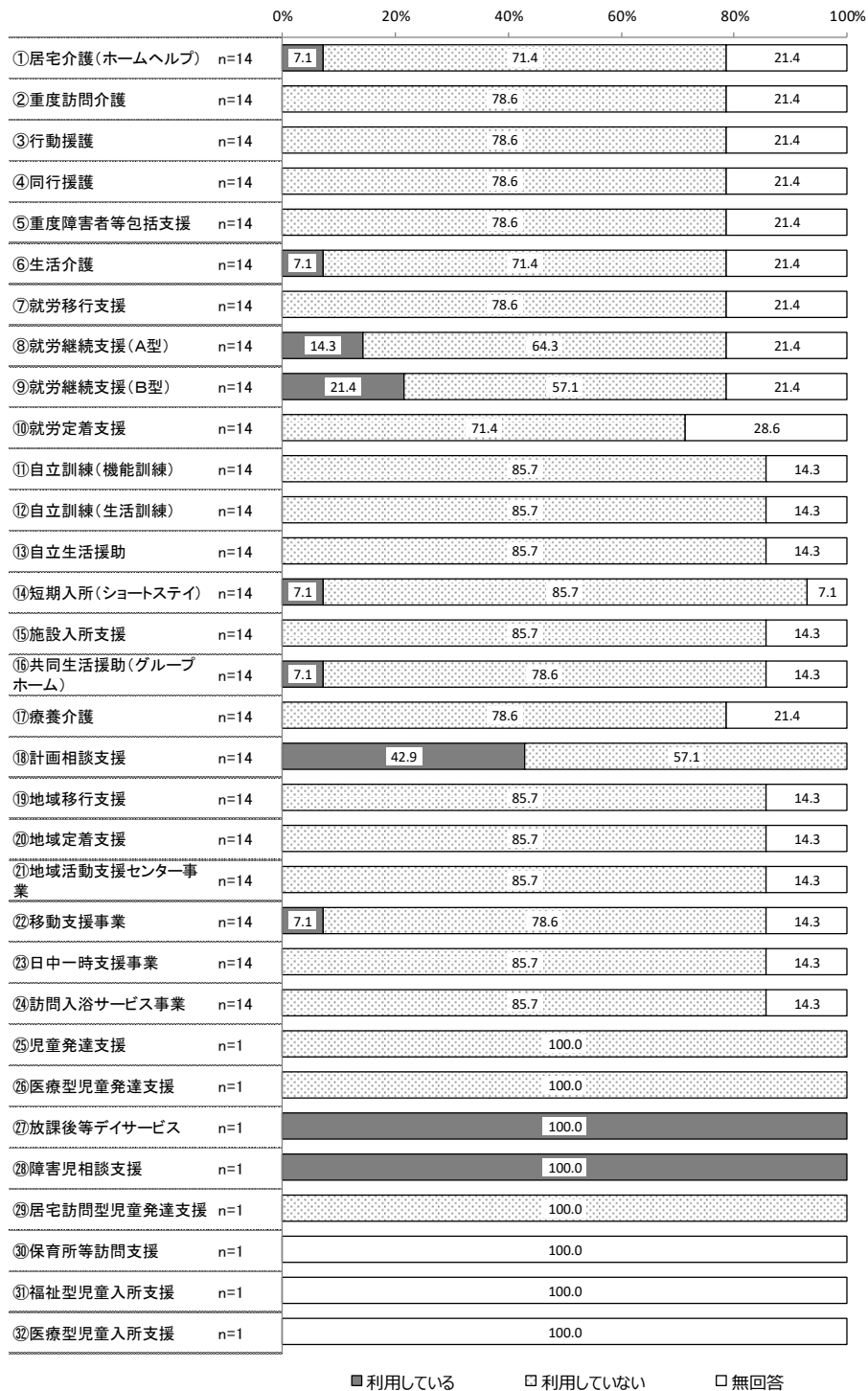


■ 利用したい □ 利用したくない □ 無回答

【利用状況（精神）】

障がい福祉サービスの利用状況については、精神では「利用している」と回答が多いサービスは、「⑱計画相談支援」が42.9%と最も多く、次いで「⑨就労継続支援（B型）」が21.4%となっています。

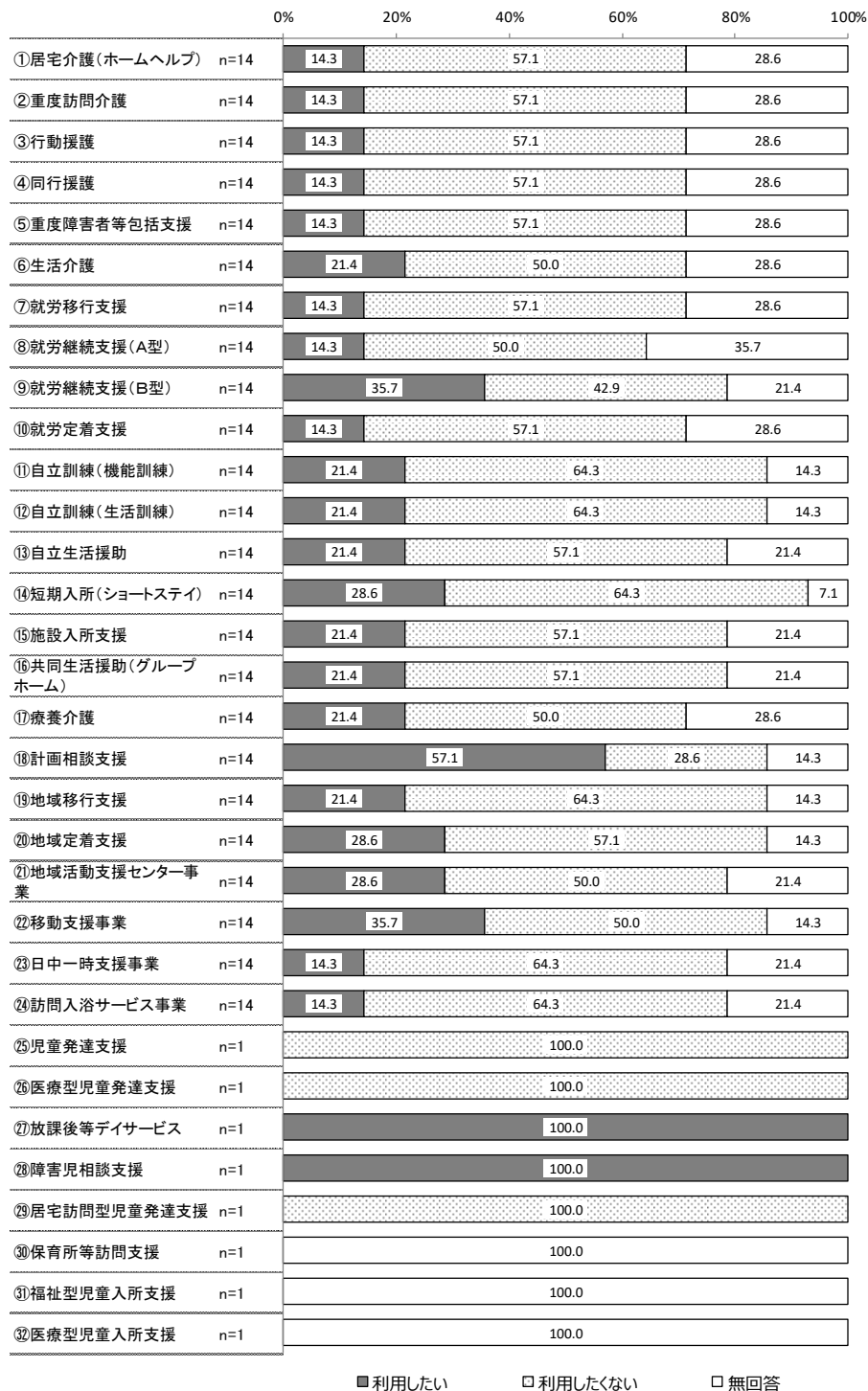
児童向けサービスでは、「㉗放課後等デイサービス」「㉘障害児相談支援」が100.0%となっています。



【利用意向（精神）】

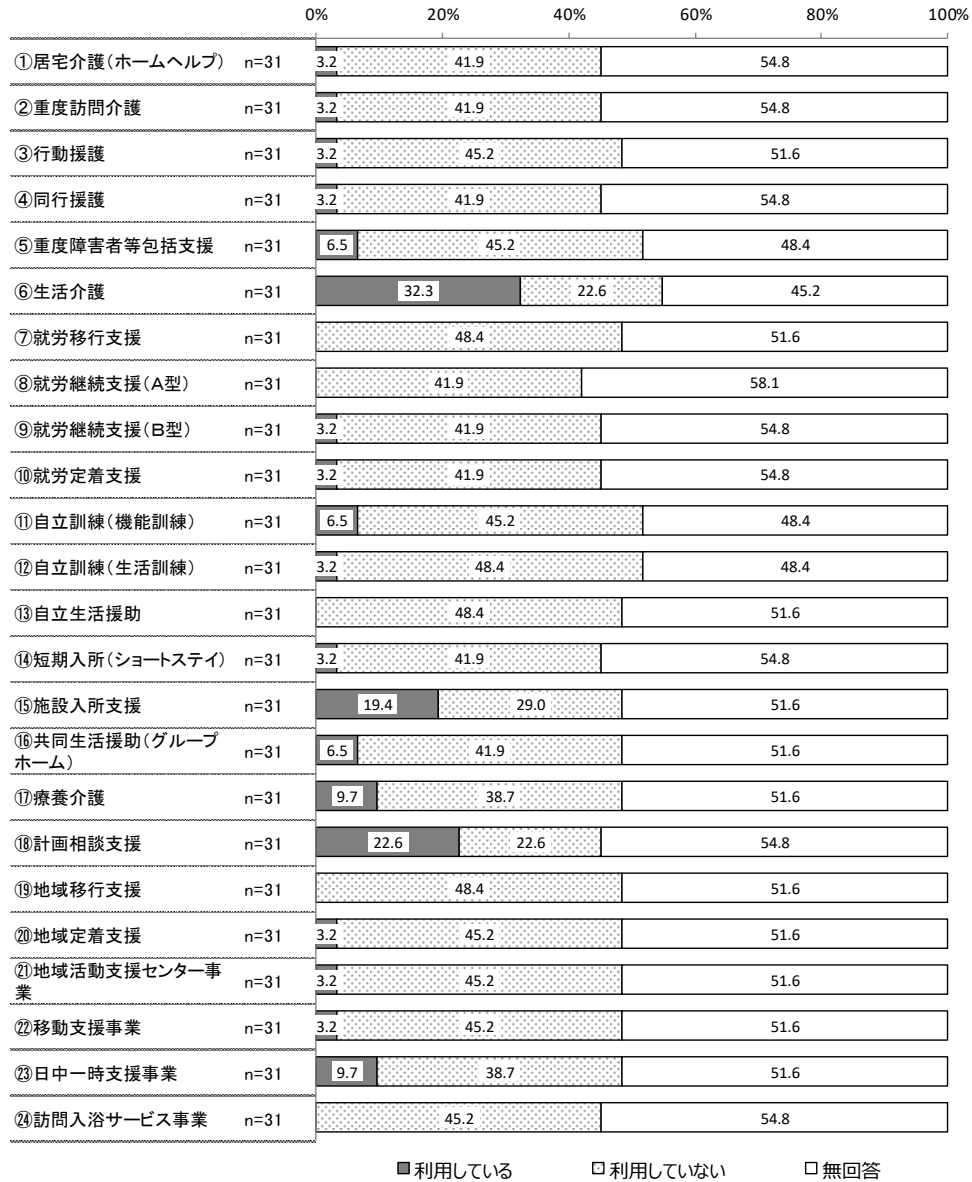
今後利用したいサービスについては、精神では「⑱計画相談支援」が57.1%と最も多く、次いで「⑨就労継続支援B型」「㉒移動支援事業」が35.7%となっています。

児童向けサービスでは、「㉗放課後等デイサービス」「㉘障害児相談支援」が100.0%となっています。



【利用状況（重複）】

障がい福祉サービスの利用状況については、重複では「利用している」と回答が多いサービスは、「⑥生活介護」が32.3%と最も多く、次いで「⑱計画相談支援」が22.6%となっています。



【利用意向（重複）】

今後利用したいサービスについては、重複では「⑥生活介護」「⑮施設入所支援」が29.0%と最も多く、次いで「⑱計画相談支援」が22.6%となっています。

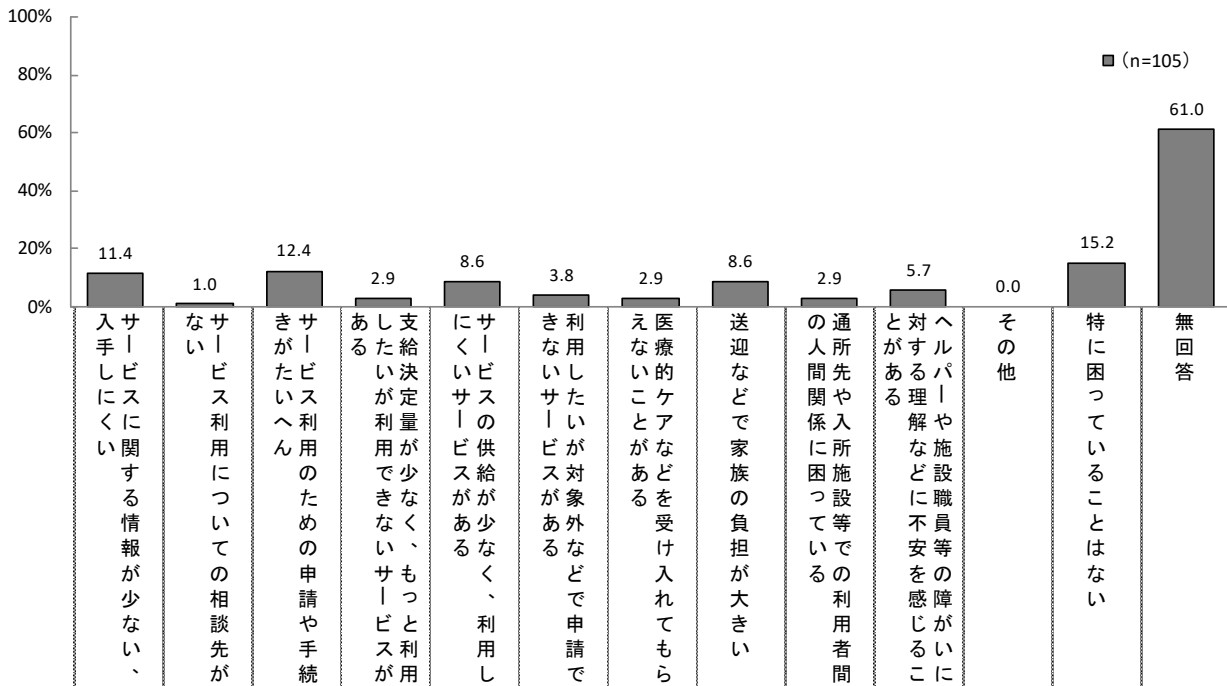


問 30 サービスの利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在サービスを利用している人(105人)にサービスの利用で困っていることについてたずねたところ、「特に困っていることはない」が15.2%と最も多くなっています。

困っている人では、「サービス利用のための申請や手続きがたいへん」が12.4%と最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」が11.4%となっています。

障がい別でみると、困っている人は、身体、精神では「サービス利用のための申請や手続きがたいへん」、療育では「サービス利用のための申請や手続きがたいへん」「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」「サービスの供給が少なく、利用しにくいサービスがある」、重複では「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」があげられています。



		問30 サービスの利用で困っていること													
調査数		サービスに関する情報が少ない、入手しにくい	サービス利用についての相談先がない	サービス利用のための申請や手続きがたいへん	支給決定量が少なく、もっと利用したいサービスがある	サービスの供給が少なく、利用しにくいサービスがある	利用したいが対象外などで申請できないサービスがある	医療的ケアなどを受け入れてもらえないことがある	送迎などで家族の負担が大きい	通所先や入所施設等での利用者間の人間関係に困っている	ヘルパーや施設職員等の障がいに対する理解などに不安を感じることもある	その他	特に困っていることはない	無回答	
調査数	105	11.4	1.0	12.4	2.9	8.6	3.8	2.9	8.6	2.9	5.7	-	15.2	61.0	
障害別	身体	53	5.7	-	9.4	1.9	5.7	-	1.9	3.8	1.9	-	17.0	66.0	
	療育	17	17.6	-	17.6	-	17.6	5.9	-	11.8	-	-	23.5	52.9	
	精神	7	-	-	42.9	-	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	-	42.9	
	重複	12	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	-	25.0	8.3	16.7	-	58.3	
	その他	16	12.5	-	6.3	6.3	6.3	-	12.5	6.3	12.5	12.5	-	18.8	62.5

問 31 障がい福祉サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい福祉サービスを利用していない人（98人）に理由についてたずねたところ、「家族などで十分な介護ができるから」が29.6%と最も多くなっています。

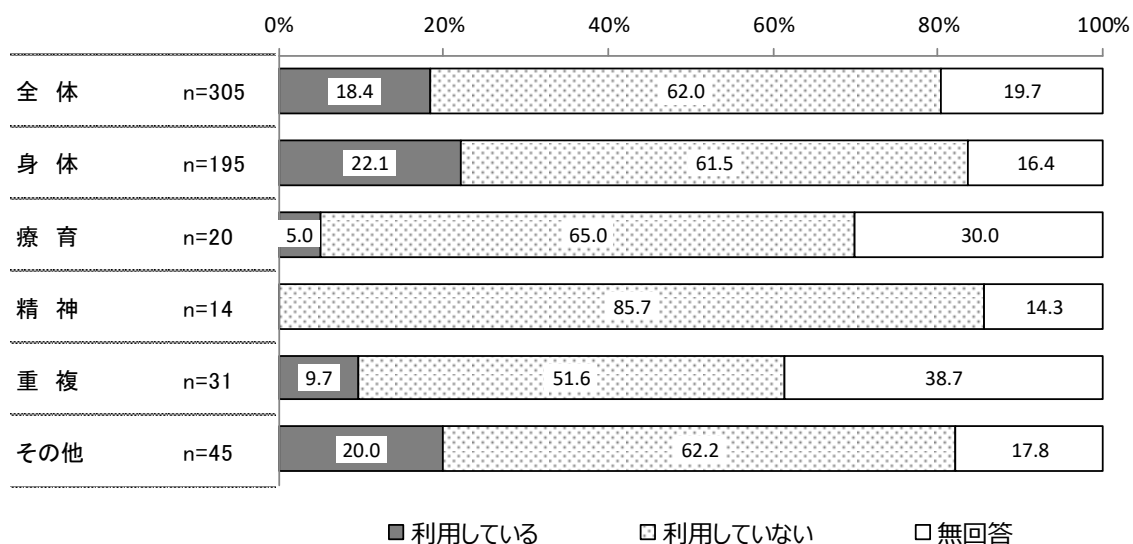
また、その他の意見として多かったものとしては、「今のところ必要がないから」「自分で何でもできるから」などがあげられています。



問 32 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

介護保険によるサービスを利用しているかについては、「利用している」が18.4%、「利用していない」が62.0%となっています。

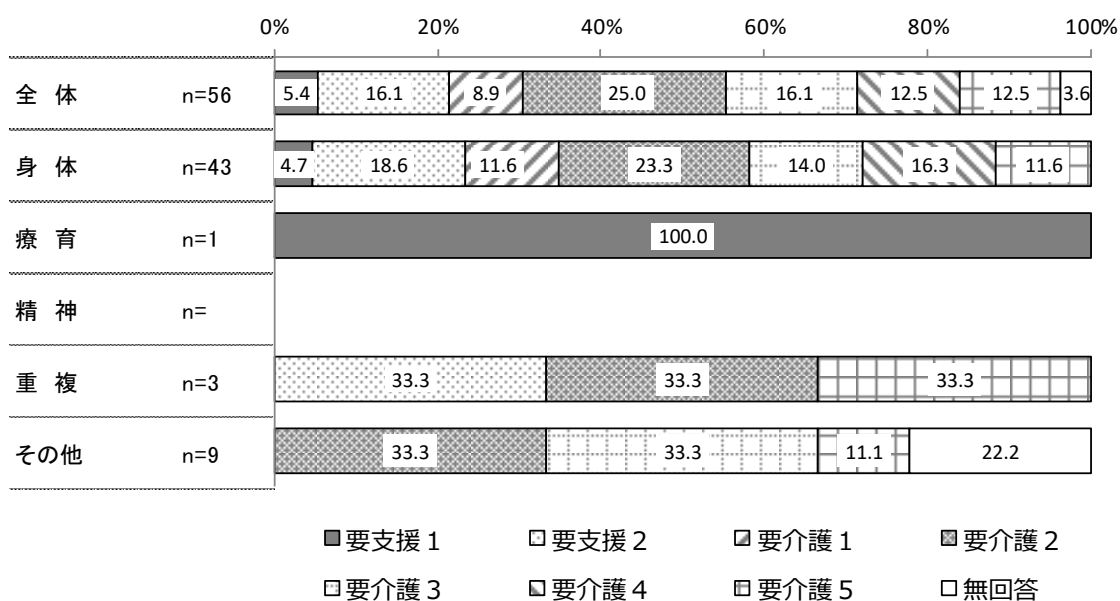
障がい別でみると、「利用している」と回答した人は、身体では22.1%、療育では5.0%、重複では9.7%となっています。



問 33 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

介護サービスを利用している(56人)に要介護度についてたずねたところ、「要介護2」が25.0%と最も多く、次いで「要支援2」「要介護3」が16.1%となっています。

障がい別でみると、身体で「要介護2」が最も多くなっています。



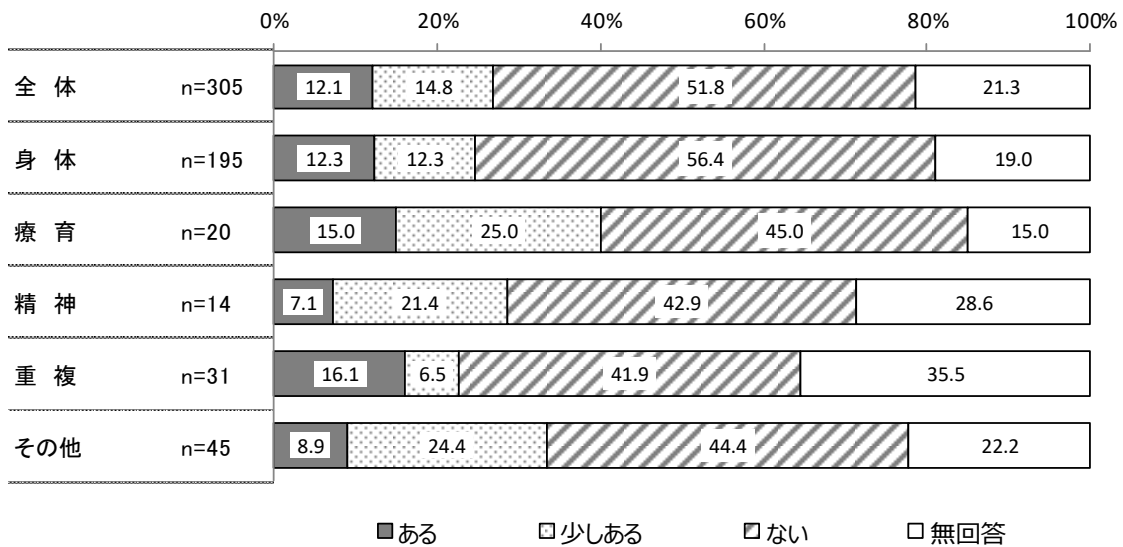
(7) 権利擁護・障がい者差別解消について

問 34 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

(○は1つだけ)

障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかについては、「ない」が51.8%と最も多くなっています。一方で、「ある」は12.1%、「少しある」は14.8%となっており、これらを合わせた、“差別や嫌な思いをしたことがある人”が約3割（26.9%）を占めています。

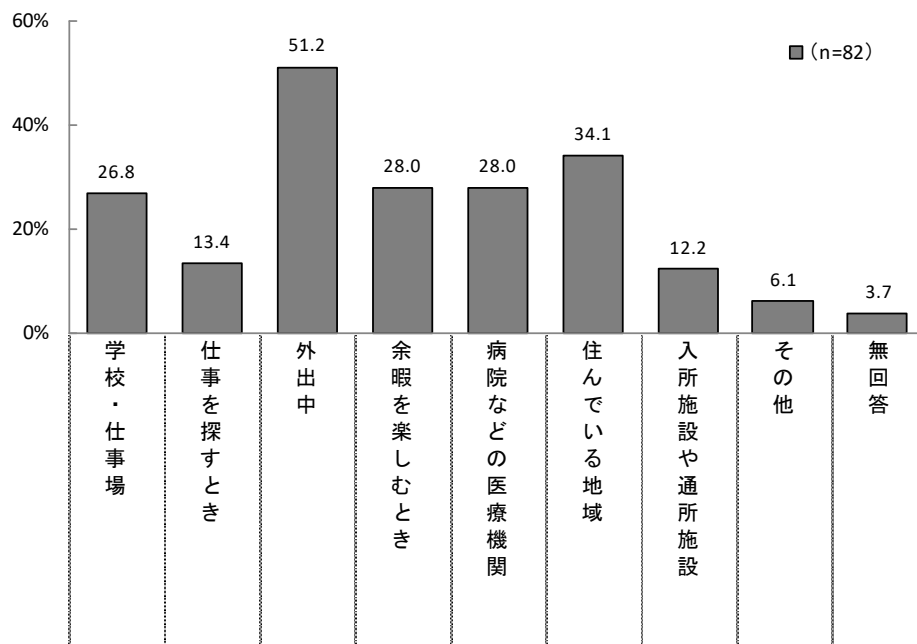
障がい別でみると、“差別や嫌な思いをしたことがある人”は、身体では24.6%にとどまっているものの、療育では40.0%となっています。また、精神では28.5%、重複では22.6%となっています。



問 35 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別や嫌な思いをしたことがある人（82 人）に場所についてたずねたところ、「外出中」が 51.2%と最も多く、次いで「住んでいる地域」が 34.1%、「余暇を楽しむとき」「病院等の医療機関」が 28.0%、「学校・仕事場」が 26.8%となっています。

障がい別でみると、身体、療育では「外出中」が多くなっています。また、精神では「学校・仕事場」「仕事を探すとき」、重複では「病院等の医療機関」「外出中」が多くなっています。

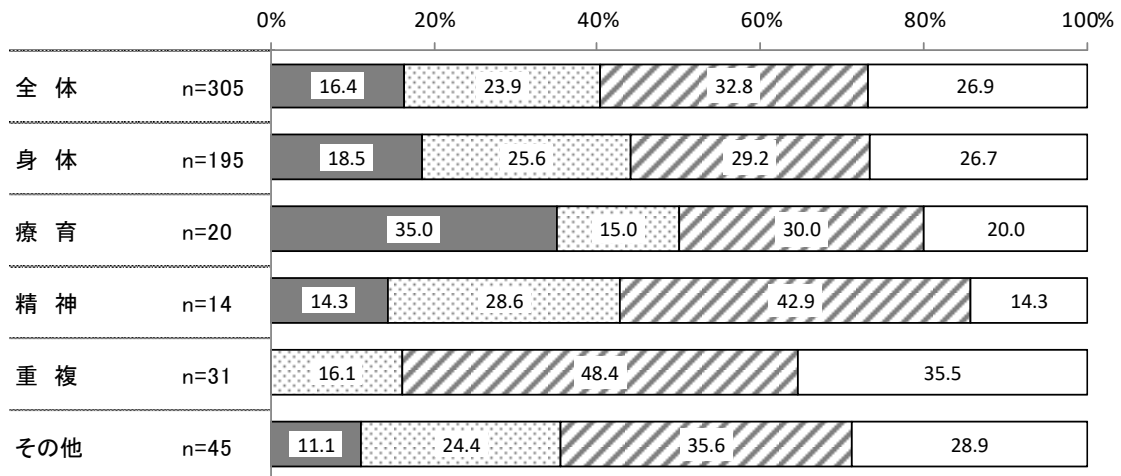


		調査数	問35 差別や嫌な思いをした場所								
			学校・仕事場	仕事を探すとき	外出中	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	住んでいる地域	入所施設や通所施設	その他	無回答
調査数		82	26.8	13.4	51.2	28.0	28.0	34.1	12.2	6.1	3.7
障 害 別	身体	48	20.8	16.7	50.0	22.9	16.7	31.3	8.3	6.3	4.2
	療育	8	25.0	-	87.5	62.5	25.0	37.5	25.0	-	-
	精神	4	75.0	75.0	50.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-
	重複	7	14.3	-	57.1	42.9	71.4	42.9	14.3	14.3	14.3
	その他	15	40.0	-	33.3	26.7	40.0	40.0	20.0	-	-

問 36 成年後見制度についてご存じですか。（○は1つだけ）

成年後見制度の認知度については、「名前も内容も知らない」が32.8%と最も多くなっています。一方で、「名前も内容も知っている」は16.4%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」は23.9%となっており、これらを合わせた認知度は約4割（40.3%）となっています。

障がい別で見ると、成年後見制度の認知度は、身体では44.1%、療育では50.0%、精神では42.9%、重複では16.1%となっています。

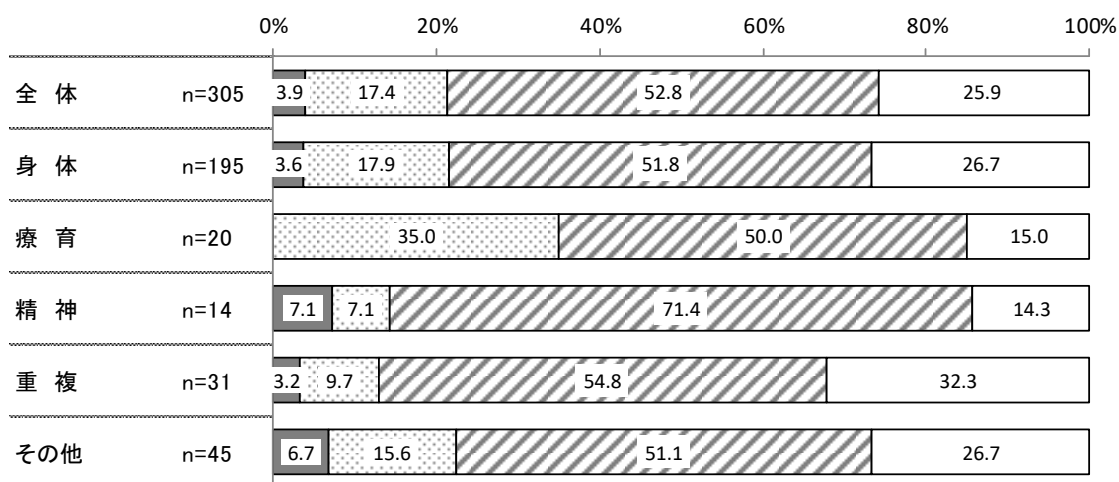


- 名前も内容も知っている
- ▨ 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
- ▧ 名前も内容も知らない
- 無回答

問 37 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。(○は1つだけ)

障害者差別解消法の認知度については、「法の名称も名前も知らない」が52.8%と最も多くなっています。一方で、「法の名称も内容も知っている」は3.9%、「法の名称は知っているが、内容は知らない」は17.4%となっており、これらを合わせた認知度は約2割(21.3%)となっています。

障がい別で見ると、障害者差別解消法の認知度は、身体では21.5%、療育では35.0%、精神では14.2%、重複では12.9%となっています。



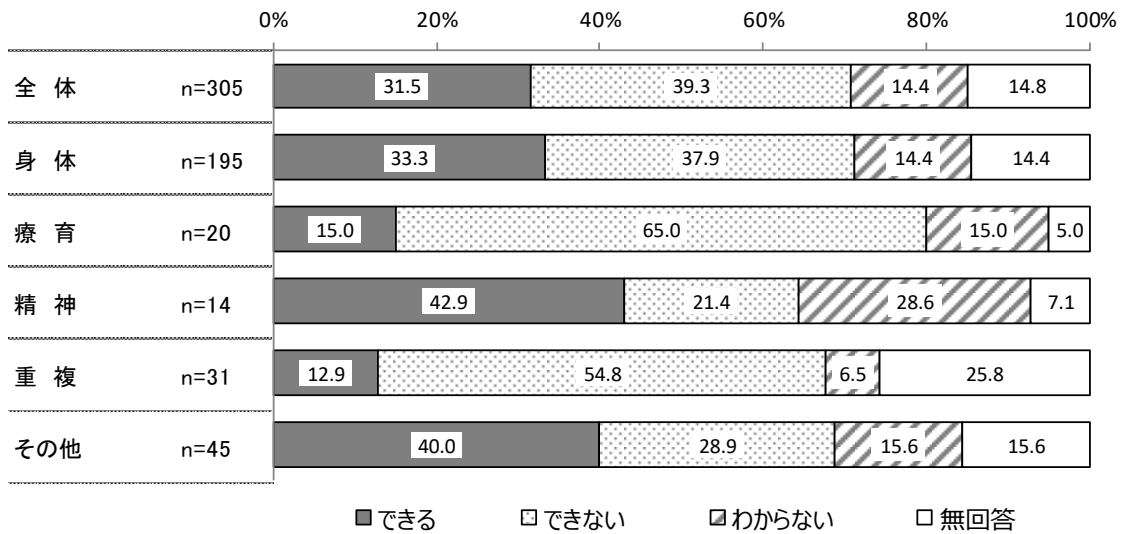
- 法の名称も内容も知っている
- ▨ 法の名称は知っているが、内容は知らない
- 法の名称も内容も知らない
- 無回答

(8) 災害時の避難等について

問 38 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

災害時における一人での避難については、「できる」が31.5%、「できない」が39.3%となっています。

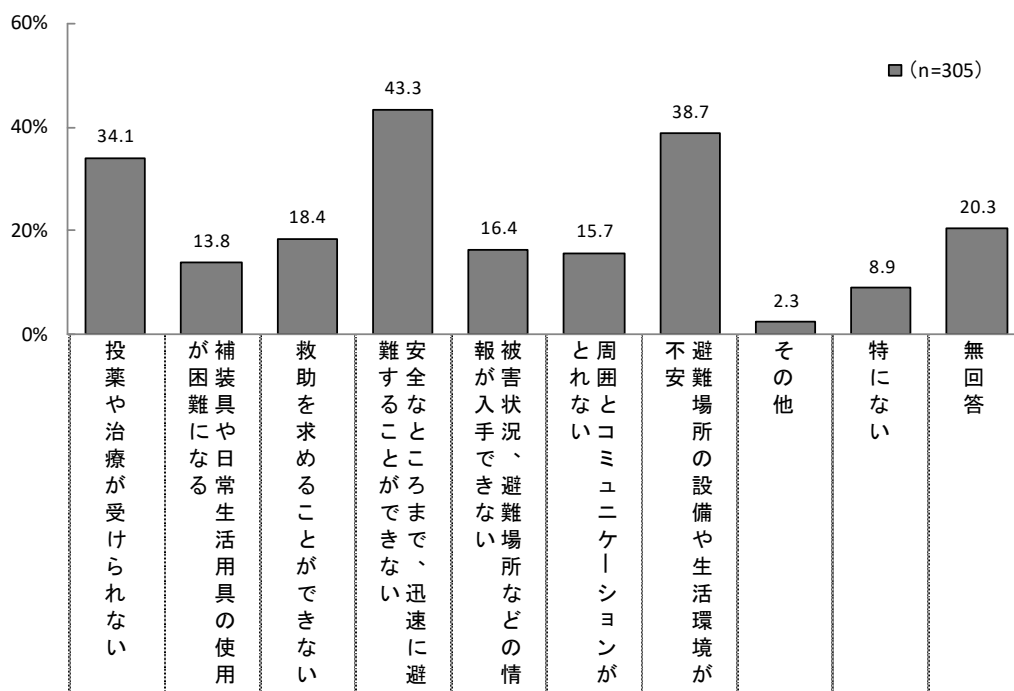
障がい別で見ると、ひとりで避難できる人は、身体では33.3%、療育では15.0%、精神では42.9%、重複では12.9%となっています。一方、ひとりで避難できない人は療育や重複では5割を超えています。



問 39 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

火事や地震等の災害時に困ることについては、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が43.3%と最も多く、次いで「避難場所の設備や生活環境が不安」が38.7%、「投薬や治療が受けられない」が34.1%となっています。

障がい別でみると、身体、療育、重複などでは「安全なところまで、迅速に避難することができない」が最も多くなっています。療育では「救助が求めることができない」も多くなっています。精神では「投薬や治療が受けられない」が最も多くなっています。



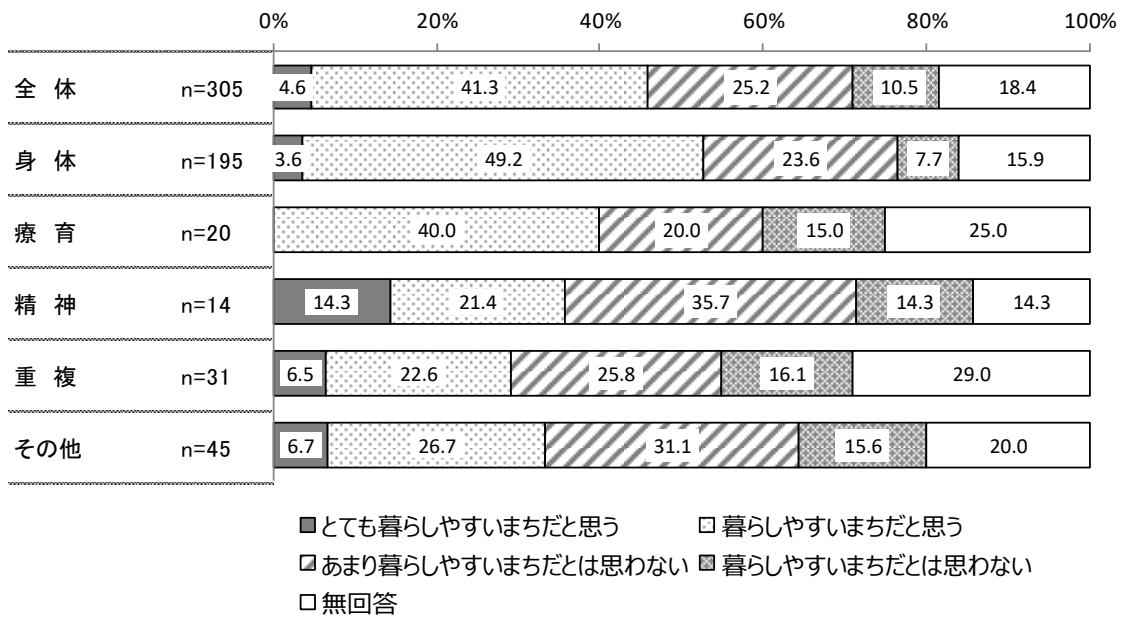
	調査数	問39 災害時に困ること									
		投薬や治療が受けられない	補装具や日常生活用具の使用が困難になる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備や生活環境が不安	その他	特になし	無回答
調査数	305	34.1	13.8	18.4	43.3	16.4	15.7	38.7	2.3	8.9	20.3
障 害 別	身体	37.9	18.5	13.3	47.2	13.8	10.3	40.5	0.5	7.7	18.5
	療育	10.0	-	60.0	60.0	35.0	40.0	40.0	10.0	10.0	15.0
	精神	50.0	-	7.1	28.6	7.1	35.7	35.7	14.3	7.1	7.1
	重複	35.5	9.7	38.7	45.2	22.6	32.3	32.3	-	9.7	32.3
	その他	22.2	6.7	11.1	22.2	17.8	11.1	35.6	4.4	13.3	26.7

(9) 暮らしやすさや将来の生活について

問 40 あなたは、高浜町は障がい者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

障がい者にとって高浜町の暮らしやすさについては、「暮らしやすいまちだと思う」が41.3%と最も多く、これに「とても暮らしやすいまちだと思う」(4.6%)を合わせた“暮らしやすいと感じている人”が45.9%を占めています。

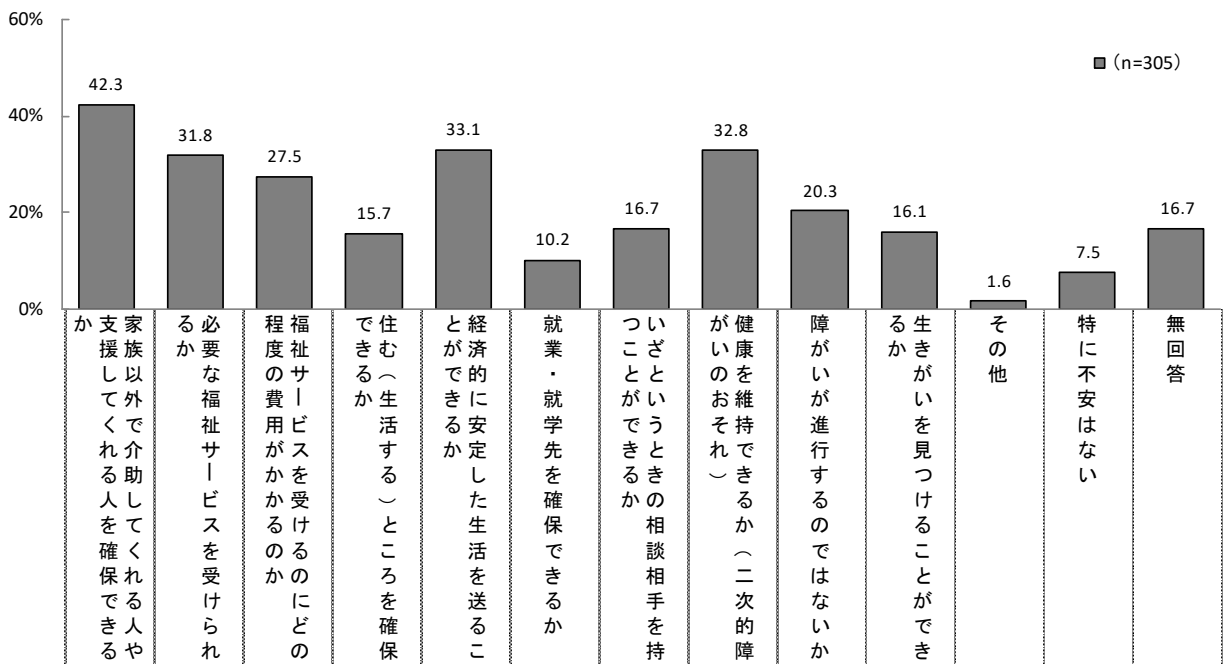
障がい別でみると、“暮らしやすいと感じている人”は身体では52.8%、療育では40.0%、精神では35.7%、重複では29.1%となっています。また、精神や重複では“暮らしにくいと感じている人”が“暮らしやすいと感じている人”を上回っています。



問 41 将来の生活に対する不安についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

将来の生活に対する不安については、「家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか」が42.3%と最も多く、次いで「経済的に安定した生活を送ることができるか」が33.1%、「健康を維持できるか（二次的障がいのおそれ）」が32.8%、「必要な福祉サービスを受けられるか」が31.8%となっています。

障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか」が最も多くなっています。また、精神では「経済的に安定した生活を送ることができるか」も多くなっています。次いで身体では「健康を維持できるか（二次的障がいのおそれ）」、療育では「必要な福祉サービスを受けられるか」、重複では「経済的に安定した生活を送ることができるか」があげられています。



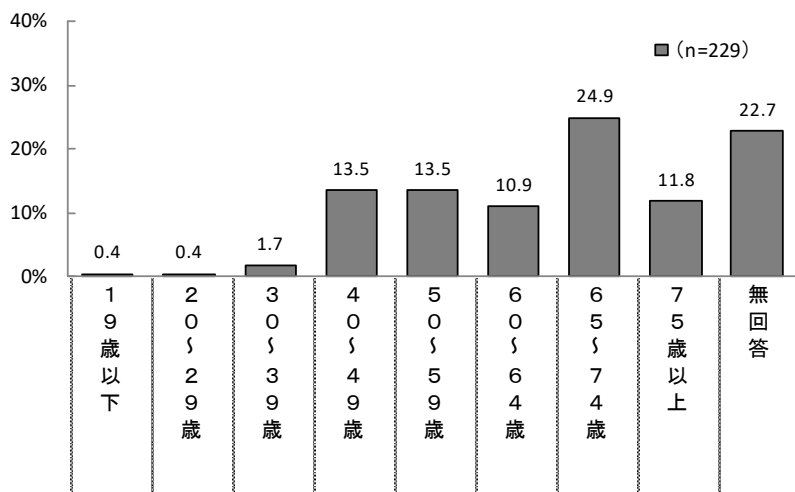
		問41 将来の生活に対する不安について													
調査数		家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか	必要な福祉サービスを受けられるか	福祉サービスを受けるのにどの程度費用がかかるのか	住む（生活する）ところを確保できるか	経済的に安定した生活を送ることができるか	就業・就学先を確保できるか	いざというときの相談相手を持つことができるか	健康を維持できるか（二次的障がいのおそれ）	障がいがあるわけではないか	生きがいを見つけることができるか	その他	特に不安はない	無回答	
調査数	305	42.3	31.8	27.5	15.7	33.1	10.2	16.7	32.8	20.3	16.1	1.6	7.5	16.7	
障 害 別	身体	195	40.0	30.3	27.7	12.3	31.3	4.1	12.8	36.4	25.1	11.8	1.0	9.2	14.9
	療育	20	60.0	50.0	25.0	40.0	30.0	25.0	30.0	35.0	10.0	35.0	5.0	-	15.0
	精神	14	71.4	35.7	50.0	35.7	71.4	35.7	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	-	7.1
	重複	31	41.9	29.0	25.8	25.8	32.3	9.7	29.0	29.0	25.8	25.8	-	3.2	22.6
	その他	45	35.6	31.1	22.2	6.7	31.1	22.2	11.1	15.6	2.2	20.0	-	8.9	24.4

問 42 あなたを介護してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態、悩み等をお答えください。

①年齢（令和2年7月1日現在）

主に介助している方の年齢については、「65～74 歳」が 24.9%と最も多く、次いで「40～49 歳」「50～59 歳」が 13.5%となっています。

障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「65～74 歳」が最も多くなっています。

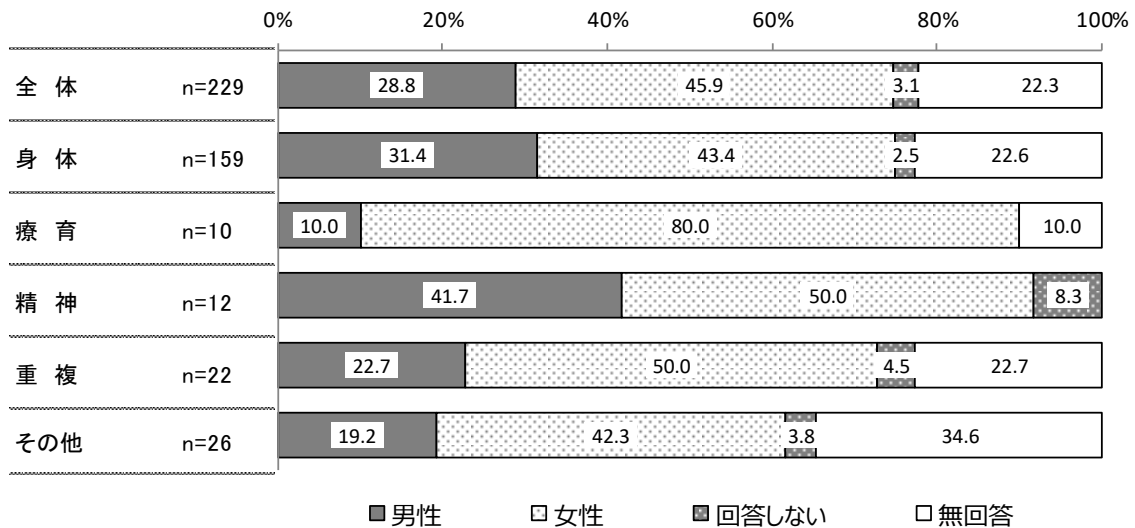


		調査数	問42 ①主な介助者の年齢								
			19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
調査数		229	0.4	0.4	1.7	13.5	13.5	10.9	24.9	11.8	22.7
障 害 別	身体	159	0.6	0.6	1.9	10.7	15.1	11.3	25.8	11.9	22.0
	療育	10	-	-	-	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	10.0
	精神	12	-	-	-	25.0	-	25.0	41.7	8.3	-
	重複	22	-	-	-	9.1	13.6	13.6	18.2	13.6	31.8
	その他	26	-	-	3.8	23.1	11.5	-	15.4	11.5	34.6

②性別

主に介助している方の性別については、「男性」が 28.9%、「女性」が 45.9%となっており、女性の介助者が多くなっています。

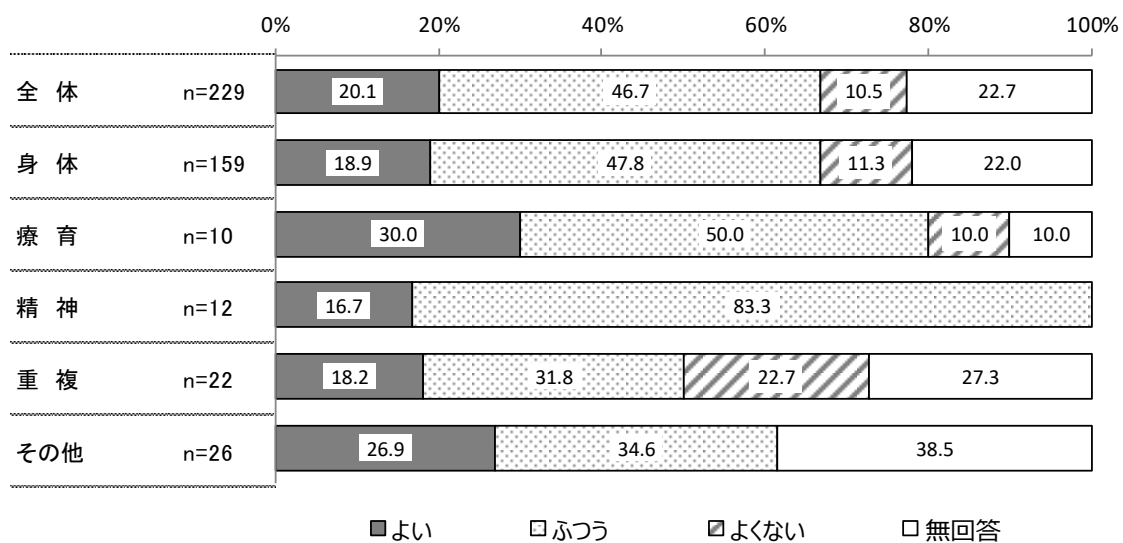
障がい別でみると、療育では「女性」が 80.0%と多くなっています



③健康状態

主に介助している方の健康状態については、「ふつう」が 46.7%と最も多くなっています。また、「よい」が 20.1%となっているのに対し、「よくない」は 10.5%となっています。

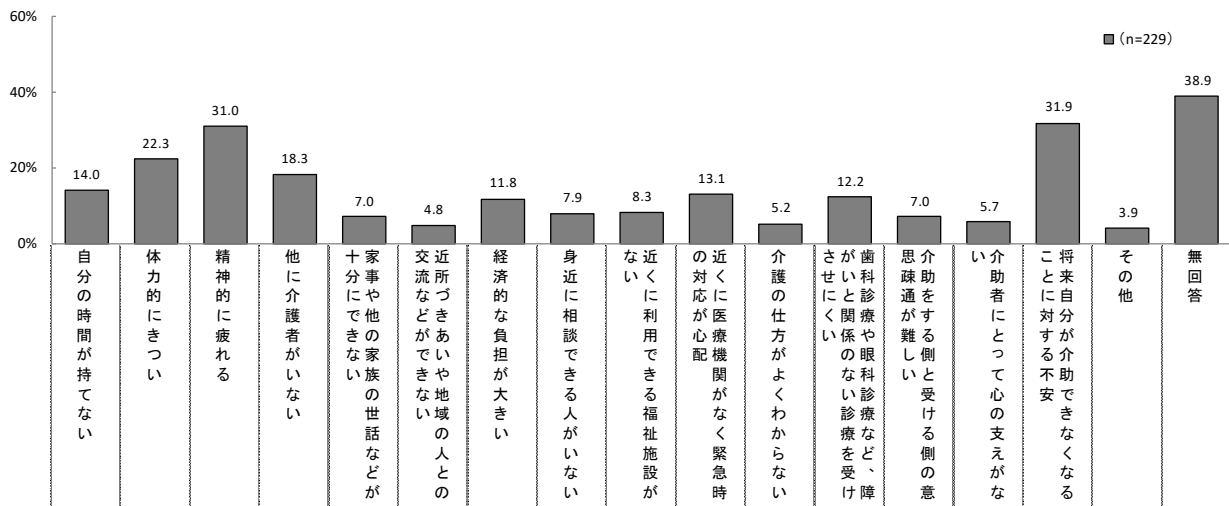
障がい別でみると、「よい」と回答した人は、身体では約 2 割 (18.9%)、療育では 3 割 (30.0%)、精神や重複では約 2 割となっています。



④介護する上での悩みや問題

主な介助者の方が介助する上での悩みや問題については、「将来自分が介助できなくなることに
対する不安」が31.9%と最も多く、次いで「精神的に疲れる」が31.0%、「体力的にきつい」
が22.3%となっています。

障がい別で見ると、身体、療育では「将来自分が介助できなくなることに
対する不安」が最も多くなっています。精神、重度では「精神的に疲れる」が最も多くなっています。



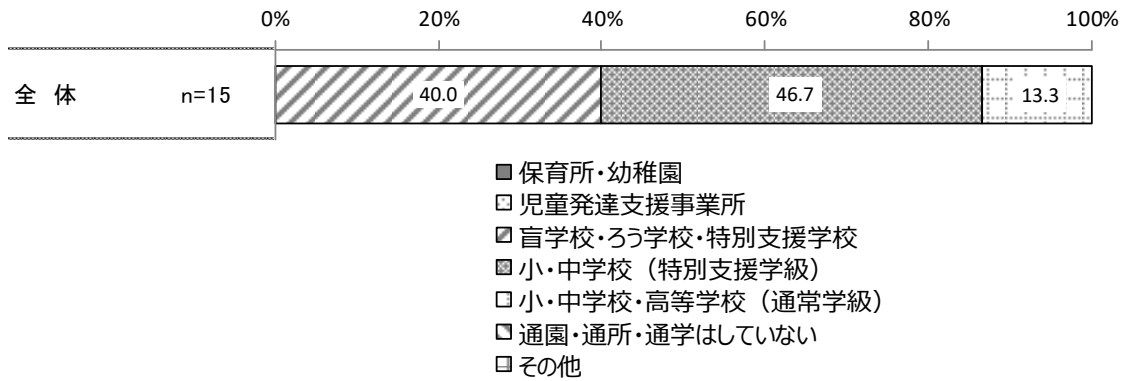
	調査数	悩みや問題																
		自分の時間が持てない	体力的にきつい	精神的に疲れる	他に介護者がいない	家事や他の家族の世話などが十分にできない	近所づきあいや地域の人の交流などができない	経済的な負担が大きい	身近に相談できる人がいない	近くに利用できる福祉施設がない	近くに医療機関がなく緊急時の対応が心配	介護の仕方がよくわからない	歯科診療や眼科診療など、障がいと関係のない診療を受けさせにくい	介護をする側と受ける側の意思疎通が難しい	介護者にとって心の支えがない	将来自分が介助できなくなることに 対する不安	その他	無回答
調査数	229	14.0	22.3	31.0	18.3	7.0	4.8	11.8	7.9	8.3	13.1	5.2	12.2	7.0	5.7	31.9	3.9	38.9
障 害 別																		
身体	159	13.8	18.9	25.8	18.9	5.7	2.5	11.9	5.7	5.0	7.5	4.4	11.3	6.3	4.4	28.3	2.5	42.1
療育	10	-	30.0	30.0	20.0	-	-	-	-	20.0	10.0	10.0	50.0	-	-	60.0	20.0	10.0
精神	12	16.7	25.0	75.0	33.3	16.7	8.3	25.0	16.7	25.0	50.0	8.3	8.3	33.3	16.7	58.3	-	8.3
重複	22	13.6	36.4	50.0	18.2	13.6	22.7	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	13.6	4.5	13.6	45.5	4.5	31.8
その他	26	19.2	26.9	26.9	7.7	7.7	3.8	3.8	11.5	7.7	19.2	3.8	3.8	3.8	3.8	19.2	7.7	50.0

(10) 教育・保育について

【問 43～問 46 は 18 歳未満の方にお聞きします。】

問 43 あなたは現在通学（通園・通所）していますか。（○は 1 つだけ）

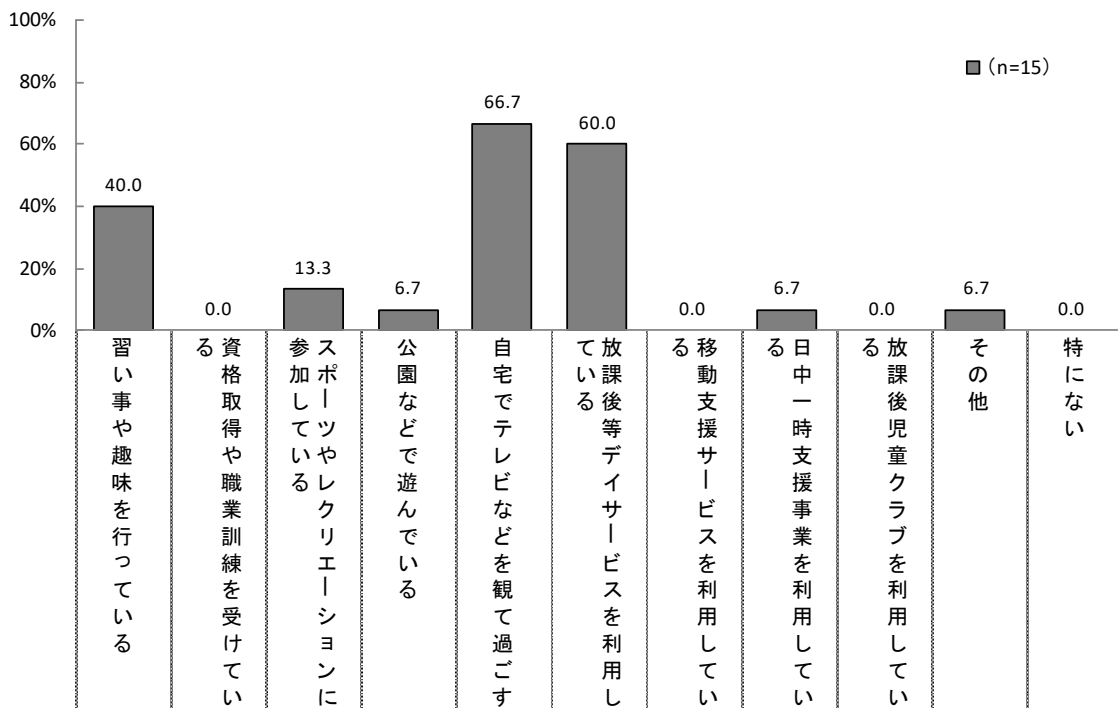
通学（通園・通所）については、「小・中学校（特別支援学級）」が 46.7%と最も多く、次いで「盲学校・ろう学校・特別支援学校」が 40.0%となっています。



問 44 あなたの休暇、放課後などの主な過ごし方は次のうちどれですか。

（あてはまるものすべてに○）

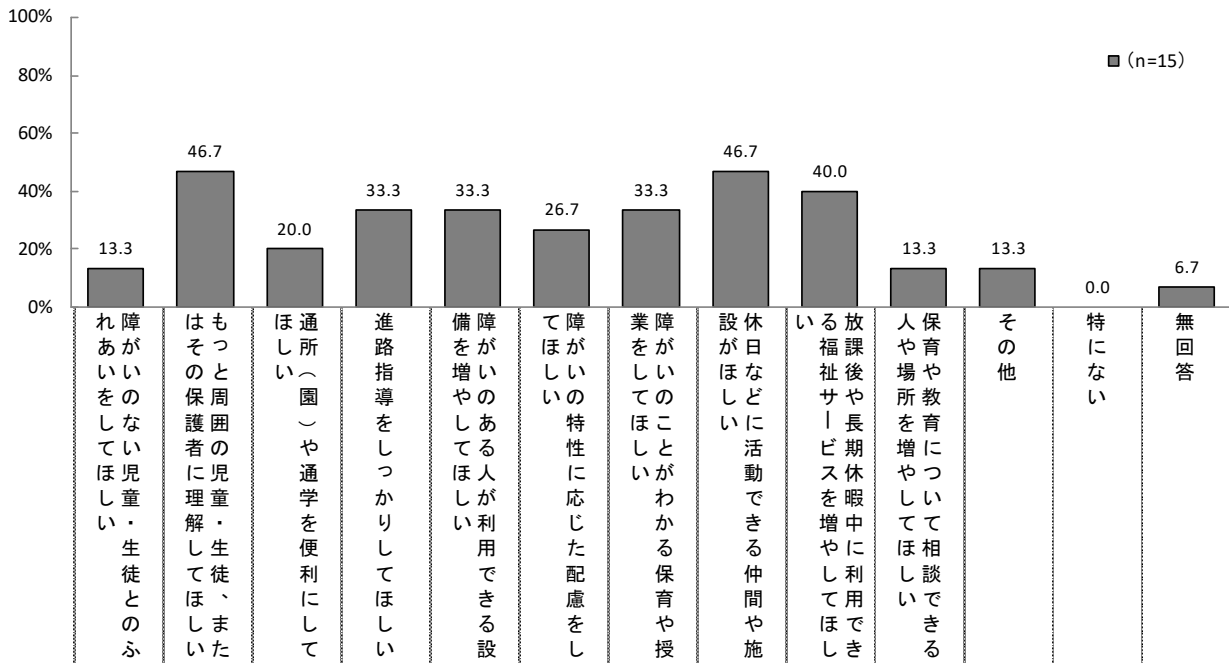
休暇、放課後などの主な過ごし方については、「自宅でテレビなどを観て過ごす」が 66.7%と最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用している」が 60.0%、「習い事や趣味を行っている」が 40.0%となっています。



問 45 あなたは、保育や教育について今後、どのようなことが必要だと思いますか。

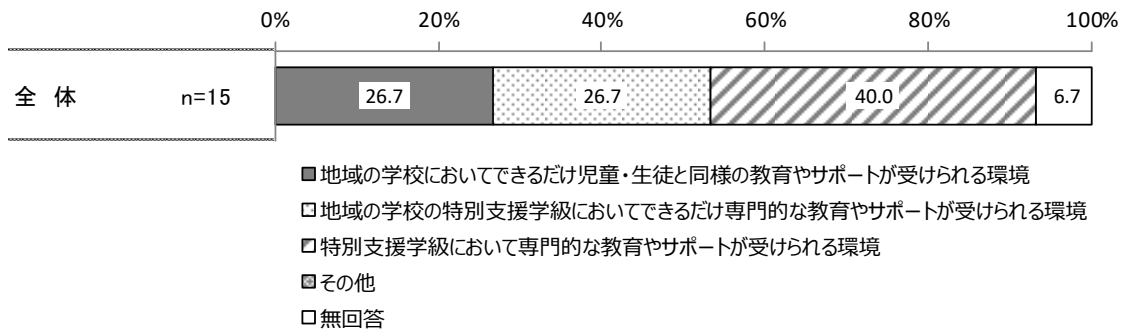
(あてはまるものすべてに○)

保育や教育について今後必要だと思うことについては、「もっと周囲の児童・生徒、またはその保護者に理解してほしい」「休日などに活動できる仲間や施設がほしい」が 46.7%と最も多く、次いで「放課後や長期休暇中に利用できる福祉サービスを増やしてほしい」が 40.0%となっています。



問 46 あなたにとって、望ましい就学環境とはどのような環境だと思いますか。（○は1つだけ）

望ましい就学環境については、「特別支援学級において専門的な教育やサポートが受けられる環境」が 40.0%と最も多く、次いで「地域の学校においてできるだけ児童・生徒と同様の教育やサポートが受けられる環境」「地域の学校の特別支援学級においてできるだけ専門的な教育やサポートが受けられる環境」が 26.7%となっています。

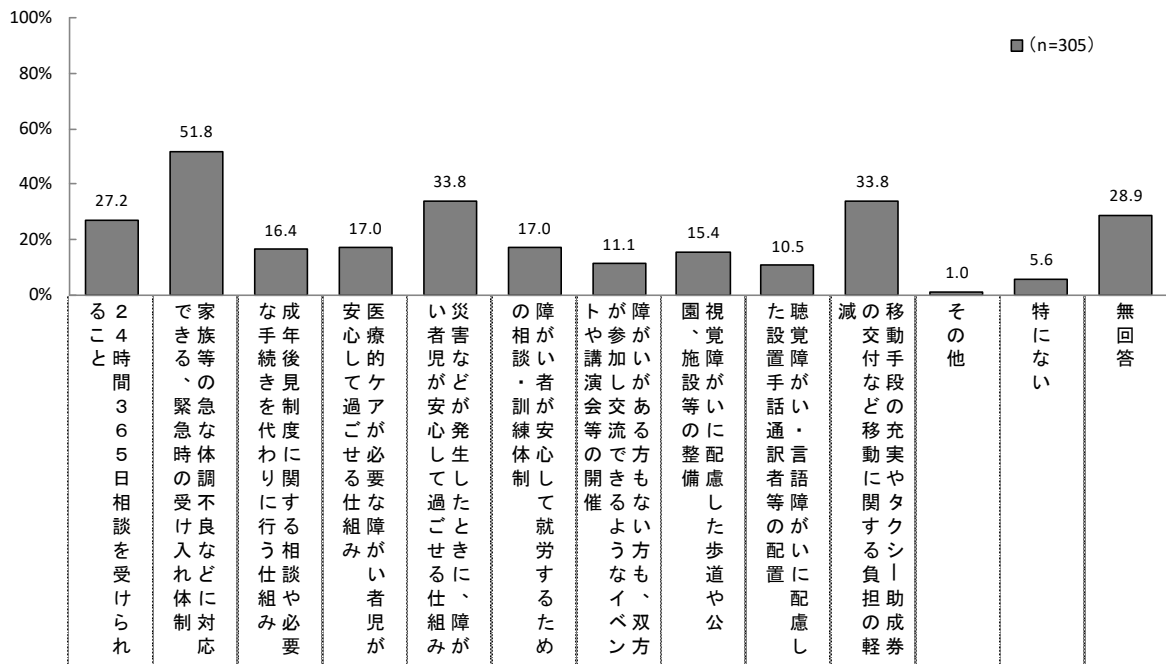


(11) 障がい福祉全般について

問 47 これからも地域で安心して生活していくためには、どのような体制や仕組みが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

これからも地域で安心して生活していくために必要な体制や仕組みについては、「家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制」が 51.8%と最も多く、次いで「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」「移動手段の充実やタクシー助成券の交付など移動に関する負担の軽減」が 33.8%となっています。

障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制」が最も多くなっています。次いで身体では「移動手段の充実やタクシー助成券の交付など移動に関する負担の軽減」、療育では「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」、精神では「障がい者が安心して就労するための相談・訓練体制」「移動手段の充実やタクシー助成券の交付など移動に関する負担の軽減」、重複では「24時間365日相談を受けられること」「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」があげられています。



	調査数	問47 これからも地域で安心して生活していくために必要な体制や仕組み													
		24時間365日相談を受けられること	家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制	成年後見制度に関する相談や必要な手続きを代行を行う仕組み	医療的ケアが必要な障がい者児が安心して過ごせる仕組み	災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み	障がい者が安心して就労するための相談・訓練体制	障がいがある方もない方も、双方が参加し交流できるようなイベントや講演会等の開催	視覚障がいや聴覚障がい等に配慮した歩道や公園、施設等の整備	聴覚障がいや言語障がい等に配慮した設置手話通訳者の配置	移動手段の充実やタクシー助成券の交付など移動に関する負担の軽減	その他	特になし	無回答	
調査数	305	27.2	51.8	16.4	17.0	33.8	17.0	11.1	15.4	10.5	33.8	1.0	5.6	28.9	
障害別	身体	195	25.1	49.7	11.8	15.9	31.8	10.8	8.7	15.4	9.2	35.4	0.5	4.6	30.8
	療育	20	50.0	85.0	65.0	30.0	70.0	40.0	25.0	10.0	20.0	30.0	-	5.0	-
	精神	14	21.4	57.1	28.6	14.3	35.7	42.9	14.3	28.6	21.4	42.9	14.3	14.3	14.3
	重複	31	38.7	51.6	22.6	25.8	38.7	19.4	19.4	19.4	9.7	32.3	-	3.2	32.3
	その他	45	20.0	44.4	6.7	11.1	22.2	24.4	8.9	11.1	8.9	26.7	-	8.9	35.6

(12) 自由回答

障がい福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

意見
未就・就学年齢へのサービスは NPO おひさまのお陰で進んでいますが、学齢期を終えた自分の声で要求するできない知的・発達のある人へのサービスが何も進んでいない。いつまでも親がみれるものではないので、少しでも早く形になればと思います
高浜町には就労事業所がなく、成人後がとても不安です。GH、一人暮らしでヘルパー等の利用など、親がまだ元気なうちから道筋をつけていきたいと思います。来年4月から小浜方面に働くとなると JR が止まった場合のバスの運行など、休みの日に運転免許がないと JR しがなく、ちよどお昼の時間に電車がなく、余暇の幅が広がらずとても残念に思いました。地域で安心して生活するために町や県の行政の方だけに頼るだけでなく、家でできることなど私たちなりに取り組んでいきます
役場職員の窓口対応の悪さ、福祉サービスもですが、住民サービスが悪い
一人で暮らしておられる障がいのある方とご一緒してこれに届いても書けないと思います。そして声とならない。それでいいのですか
台風などで避難しなくてはならない時、健常者のいる公民館で騒いだりするので避難できない。障がい者専用の避難場所を確保してほしい
3年前の当時、病院でのリハビリを180日ということでお世話になっていました。施設で維持を保っていくことも大切だと思いますが、もう少し長期の効果的なリハビリを病院で続けられたらうれしいと思います
親が動け、支援してやれる間はまだまだ不安は少ないが、自立した生活を送ろうと思うと、まず就労先の問題があります。本人がやりがいをもって長く続けられる、地域の人も関わり合いながらできる職場があれば切に願います。仕事を持ち、住居もあり、人生を楽しみながら生きていけるような施設ができればと望みます。高浜町が福祉に対して遅れているとよく聞きますが、住民の皆さんの意識をみんなで少しずつ、みんなで見守り、みんなで助け合うように変えていだけで就労のことも、生きることも大きく変わっていくように思います
自立支援医療受給者証の申請の時、いつも担当してくださる方は小声で対応してくださりありがたいです。他の方が対応されたとき「自立支援受給者証です」他の方にも聞こえるような声で言われたので、もう少し配慮していただけるとありがたいです
質問の意味や意図がわからないものが多い。高齢者等に説明するのが負担。毎年アンケート調査が来るが、町が良くなっているとは思えない
他の自治体だと医療の保健適応外の金銭的援助があるのに高浜町にはない。役場の各課と保健センターと保健所との連携がとれていないのですごく困る
JR が止まると仕事に行けない日があるので、町内に仕事ができるところが欲しいです
対応が前に比べればよくなっていると思います
障害のある児童に対しての対応を保健課、福祉課、教育委員会と情報共有して対応してほしい。障がい児の保護者に福祉サービスの情報提供が少なすぎる
家族等が入院などをして、障がいのある子どもをみれなくなった場合、一時的に預かってくれる施設などがあればいいと思います。初めて一人で宿泊すると不安などもあると思うので、慣れるために何度かその施設を事前に見学したり宿泊体験などして、一度でもその場所を利用しておけると突然の預かりになった時でも本人が安心して利用できると思います
知らない制度やサービスが並べられている。利用以前に知る機会すらなければ意味のあるものとは言えない
福祉センターと役場が離れているので不便だと思います。車がないと不便な地域なので、行政機関はすべて徒歩で移動できる距離であるべきだと思います
年金等の充実、介護保険料負担の軽減。高齢者になっても贅沢はしないが、つましやかな生活ができるように支援を高浜町の方でやってほしい
高浜町の福祉への取り組みは他の市町に比べ大変充実していると思います
こうしたアンケートに何回も答えてきましたが、だからといって変わったことは何も無いように思います。計画を立てるためだけのアンケートに終わらず、障害福祉にもっと力を入れてもらいたいです
以前4級くらいだったと思いますが、相談に行き聞いてみたらデータ通りと言われ、補助が半額から全額が取り消された。しっかり聞いてほしかったです
こころの病院が上中まで通院しなくてはならない。高浜にあれば通院が楽
こういうアンケートがあると周りのことや自分自身見直すことができ良いと思います
誰もが十分に利用できる福祉施設を充実してほしい。色々なところに申し込んでいるが順番がなかなか回ってこない。現在、老健に入所していますが、長期は無理で出されても一人暮らしはできない状態であるため非常に困惑しています
行政には色々な相談に親身になってほしい
難しいアンケートで疲れました
放課後サービス周辺の環境の安全面を整えてほしいです
年金で暮らせるような施設が必要である。いろいろと新しく行政の施設ができると聞いているが、今、町民は不安に思っています。金はいつまでもあるものではない。もちろん必要なお金はあるが、お金をプールできれば積み立て、福祉へと住みよいまち、高浜を目指してください

意見

小浜、舞鶴には介護タクシーの事業所があり、小浜の病院、舞鶴への通院は利用することができます。しかし、高浜には事業所がないため皆さんが困っているという話を聞きます。いつでも利用できる町内での介護タクシーの実現を願っています
歩道のバリアフリーや車いすが使える赤ふんバスをお願いします
町内の情報を知る有線ラジオは聾者は聞こえない。情報をどうやって得るのかと思う。また、障がい者のいる家や家族に対して、他の人から色々と嫌なことを聞いたので、町民の方に障がいネガティブなタブーなことに認識させていると思った。理解が拡大されるとうれしい
デイサービスでルールを守らない人がある
お金が足りない
交通機関の充実
一人になった時に生活が不安
保健福祉課が本庁ではなく、和田に存在することは問題だと思う。車のある人はいいが、和田まで行くのは困難。
今まで何をしてきたのでしょうか。一つでも何かアドバイスや提案をしてくれたことがありますか
病院や医師の協力なしでは実現は難しいと思います
災害の時に避難する場所を日頃から知らせてほしい

高浜町障害者基本計画
第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定に係るアンケート
【調査結果報告書】

発行：高浜町

発行年月：2020年（令和2年）10月

編集：高浜町 保健福祉課 福祉グループ 障がい福祉係

〒919-2201 福井県大飯郡高浜町和田 117-68

高浜町保健福祉センター内

TEL：(0770) 72-5887

FAX：(0770) 72-6109